

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
学校法人大和学園 キャリアール ホテル旅行専門学校		平成29年6月11日		楠井 秀和		〒604-8006 京都市中京区河原町二条下る 下丸屋町396番地の3 (電話) 075-241-0191																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人大和学園		昭和29年5月28日		理事長 田中 誠二		〒604-8006 京都市中京区河原町二条下る 下丸屋町396番地の3 (電話) 075-241-0891																							
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																							
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル学科 ブライダルコース			平成22年文部科学大臣告 示第152号																								
学科の目的	人間的な能力を高めるための学園共通の教育的視点 1. 真理を愛し、創造性を豊かにする 2. 義務と責任を果たし、社会性を養う 3. 清潔を尊び、礼節をわきまえた人格形成に努める 4. 異なりを認め合い、相互に敬愛する 5. 人に奉仕し、人をもてなし、人を幸せにする																												
認定年月日	平成26年3月31日																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																						
2年	昼間	1864	825	849	190	0	0																						
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																							
140人		223人	0人	12人	50人	62人																							
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験等を実施し、出席状況・学習態度などを勘案し、A BCにて評価する。																								
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月21日～8月31日 ■冬季:12月21日～1月8日 ■春季:3月21日～4月8日 ■学年末:3月31日			卒業・進級 条件	・科目ごとに行われる定期試験に100点法とし、60点以上を 合格とする。 ・各種資格検定取得や課外授業受講ごとにポイント化されて おり、2年間で5ポイント以上取得する。																								
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・出欠規定をオーバーする前に、個別の連絡や面談などを 行い、指導する。また、状況に応じて保護者へ連絡し、家庭にお いても指導いただく。			課外活動	■課外活動の種類 ・京都府専修学校各種学校協会主催 の体育大会に向けたバレー・卓球チームによる課外活動  ■サークル活動: 無																								
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) ・ブライダルハウス チュチュ、バリューマネジメント、アスピカ、 株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ、株式会社しょうざん、株式 会社ティアーズ・ブレイン、株式会社プラス、エスクリ、株式 会社ベルモニー、株式会社プリモ・ジャパン、日比谷花壇、株式 会社プライズワード、株式会社ティアーズ・ブレイン、ALL FOR ONE、株式会社扇屋、株式会社シェーナ(パルティール京 都)、株式会社ベリテ、太閤園、レッジーナ・ミラ、株式会社 HIROTA、NIHO、ブライダルハウス・オエ、その他、ホテルへの 就職指導内容 1年次より、自己分析やディベート・ディスカッション対策、面接 対策、筆記試験対策などの実践的な授業と並行し、就職対策 I・IIという授業で業界や職種理解、就職活動を進めるにあ たっての心構えや仕事や社会人について、考え、学び、職業 観の醸成に努めている。また、採用試験が始まる時期には、 履歴書、エントリーシートの添削や模擬面接の個別指導を担 任と就職担当とが連携しながら、対応している。			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)																								
		卒業生数	106	人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レストランサービス 技能検定(国家資 格)</td> <td>③</td> <td>106人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>アシスタント・ブライ ダル・コーディネー ター検定</td> <td>③</td> <td>105人</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> <td>101人</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>ジュエリーコーデ ィネーター検定</td> <td>③</td> <td>30人</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table>					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	レストランサービス 技能検定(国家資 格)	③	106人	100人	アシスタント・ブライ ダル・コーディネー ター検定	③	105人	105人	色彩検定	③	101人	96人	ジュエリーコーデ ィネーター検定	③	30人	30人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																										
レストランサービス 技能検定(国家資 格)	③	106人	100人																										
アシスタント・ブライ ダル・コーディネー ター検定	③	105人	105人																										
色彩検定	③	101人	96人																										
ジュエリーコーデ ィネーター検定	③	30人	30人																										
		就職希望者数	101	人	※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																								
		就職者数	101	人	■自由記述欄																								
		就職率	100	%	●色彩検定 優秀団体賞受賞 ●(BIA)公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 「未来の家族への想い」コンクール 優秀賞、優良賞受賞																								
		卒業者に占める就職者の割合	95.3	%																									
		その他 ・進学者数:	0	人																									
		(平成 28 年度卒業者に関する 平成29年5月1日 時点の情報)																											

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 12名 ■中退率 5.24 %  平成28年4月1日時点において、在学者229名（平成28年4月1日入学者を含む）  平成29年3月31日時点において、在学者218名（平成29年3月31日卒業者を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由  進路変更・入学前に興味があった他分野や入学後始めたアルバイトへの進路変更など  学費滞納・学費工面が難しく、期日通りの納入が出来なくなったため</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組  ・入学後、夏休み明けの担任による個人面談  ・週単位での出欠情報を共有化し、タイムリーな指導、サポート  ・1年生前期カリキュラムにおいて、業界・企業研究などによる職業観の醸成  ・本校独自の奨学金制度と学費延納制度、入学前における詳細な学費説明の徹底</p>
<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有  特待生A、特待生B、AO入学奨学金、資格認定奨学金、自宅外通学奨学金、再進学サポート奨学金、同窓生ファミリー奨学金、勉学サポート奨学金、海外留学サポート奨学金、帰国生徒奨学金</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 給付対象</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無  ※有の場合、例えば以下について任意記載  （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）</p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p><a href="http://www.kyoto-carriere.ac.jp/dot_bridal/">http://www.kyoto-carriere.ac.jp/dot_bridal/</a></p>

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

我が国のホスピタリティ産業の次代を担うホテル、ブライダル及び旅行の各スペシャリスト養成教育の質的向上に貢献するため、教育課程編成委員会の委員として産業界、企業等の役職員を選出し、企業等の様々な意見や要請などを十分に活かしながら、実践的かつ専門的そして、先駆的な職業教育モデルを構築し、中核的専門人材の養成教育を展開する。また、生徒のインターンシップやアルバイト、就業先への定期的な訪問やセミナー、講座などによる招聘時に人事や営業担当の方々に対してヒアリングを行い、各授業科目の開設や内容などの改善・工夫などに活用する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は企業等の役員または職員、教職員及びその他必要な委員を持って構成し、教育する分野における人材の専門性に関する動向を十分に把握・分析し、関係業界の要請などを活かした実践的かつ専門的な職業教育を実践するために、カリキュラム編成及び授業計画を提言する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
吉備 有紀	関西ブライダルビジネス懇話会 神戸ポートピアホテル 営業本部 マーケティング室 室長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	①
金杉 有紀	バリューマネジメント株式会社 人材開発部 マネージャー	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	③
楠井 秀和	キャリアールホテル旅行専門学校 校長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
辻 智子	キャリアールホテル旅行専門学校 ブライダル学科 学科長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
加藤 純子	キャリアールホテル旅行専門学校 ブライダル学科 教員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
田中 栄一郎	キャリアールホテル旅行専門学校 ブライダル学科 教員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
小倉 希穂	キャリアールホテル旅行専門学校 ブライダル学科 教員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
鈴木 ゆか	キャリアールホテル旅行専門学校 就職部 部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
畑中 久美子	キャリアールホテル旅行専門学校 広報渉外部 部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
丸岡 文有	キャリアールホテル旅行専門学校 教務部 次長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
山西 真弓	キャリアールホテル旅行専門学校 教務部	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

原則として、年に2回(7月と9月)に開催予定

(開催日時)

第1回 平成29年7月10日(月) 17:00～18:30

第2回 平成29年9月開催予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

本校教育課程やその内容について説明をしたうえで、企業等の見地から現場で必要とされる実践的で専門的な知識や技術、社会人基礎力などについての意見や提言を得る形で進めている。その後、意見等を踏まえて学内の役職者や教員等によるカリキュラム検討委員会にて教育課程の現在の課題や改善等の方向性を検討して、新規科目の開設や授業内容に反映し、教員会の審議を経て、新たな教育課程を編成している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学生が業界や職種について理解し、一人前の職業人となるために、現場経験が豊富でキャリアモデルとして学生の手本となるような講師を紹介いただける企業と連携を行っている。また、派遣いただいた講師には本校の施設設備を活用しながら、業界の最先端の動向を指導いただくとともに、担当科目において業界で必要とされる最低限の知識・技能を身につけたか、学修成果の評価を行っていただける企業を選定している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

一般教養科目、専門教養科目、コミュニケーション科目、語学科目、専門教育科目群のそれぞれの科目において、各企業から講師を招き、理論とともに実習・演習を交えて、目指すべき職業に必要なとされる高度な実践力と豊かな創造力を養う授業展開を行っている。学修成果については、それぞれの科目において、学習態度、提出課題、出席などとともに定期試験を行い、一人ひとり成績評価している。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
就職対策 I	社会の仕組みや“仕事”について、また、将来目指す業界・職種についての理解を深めます。個人ワークやグループワーク、現場の方の講演等を通じて正しい職業観を持つとともに、業界・職種の現状について正しく理解し、「なりたい気持ち」「なりたい目標」を叶えるための具体的な行動に移しましょう。※夏季インターンシップの事前指導も行います。	株式会社ノバレーゼ、高見株式会社、株式会社日比谷花壇、株式会社プリモ・ジャパン、Pacific Diner Service、神戸ポートピアホテル
ブライダル企業研究	就職活動において企業研究は不可欠です。本科目では、ブライダル企業について研究を行い今後の就職活動に役立てるとともに、実際にゲストハウス見学・ホテルウエディング見学へ行き研究を深めます。また、ブライダル企業の方々をを招聘したセミナーにより、企業がどのような人材を求めているか、自分がこれから何をすれば良いかについて理解し、就職活動に活かします。ブライダル企業を知ることにより、就職活動で自ら企業を研究していく力を身につけます。	バリューマネジメント株式会社、株式会社プラス、ハイアットリージェンシー大阪、びわ湖大津プリンスホテル、ワタベウエディング株式会社、KOTOWA京都八坂、ホテルモントレ京都
ブライダル業のためのホスピタリティサービス	ホスピタリティとは、自分を知り、他者を知ったうえで、お互いの違いを認識しつつも認め合う心持ちです。価値観や考え方の違いを理解し、寄り添い歩み寄ろうとする気持ちと行動は、ホスピタリティを伝えるサービスの基本です。この授業では、様々なワークや手話、体得や高齢者施設訪問などの実践を通してホスピタリティとは何かを深く考えます。また、相手の要望を引き出し、期待以上のサービスを実践すべく、より細やかなホスピタリティ・サービススキルの向上や、社会に出てからも応用でき、柔軟かつパーソナルに対応できる「人間力」を養います。	face-up
ブライダル業界研究	ひとくちにブライダル業界といっても、その職種・仕事内容は様々です。ウエディングプランナー、ドレススタイリスト、ブライダルアテンダー、ホテルやゲストハウス・レストランで働く婚礼スタッフと多岐にわたります。本科目では躍進目覚ましいウエディングプロデュース会社や、人気ホテル、そして好調に業績を推移させているブライダル関連企業について、業界研究を行い今後の就職活動に役立てることを目的とします。また、ゲストハウスの見学を通して具体的な仕事のイメージをつかみます。	リバースイート京都鴨川迎賓館
インターンシップ I (ホテル基礎実習)	ホテルの各セクションで業務を行うことで、ホテルで働く厳しさや喜びを体験し、前向きで正しい職業観を醸成するとともに、礼儀や言葉遣いなど社会人として基本的な能力の必要性を学ぶ。ホテルでの4週間必修性となり、①ホスピタリティマインドの修得②会社組織の把握③専門知識・技能の修得を目指した研修内容とする。	ホテルグランヴィア京都、ホテルモントレ京都、京都ホテルオークラ、ウェスティン都ホテル京都、ハイアットリージェンシー京都、大阪マリオット都ホテル、スイスホテル南海大阪、セントレジスホテル大阪、帝国ホテル大阪、琵琶湖ホテル、びわ湖大津プリンスホテル、宝塚ホテル、奈良ホテル、ホテルモントレエーデルホフ札幌、パークハイアット東京、ザ・リッツカールトンホテル東京、ANAクラウンプラザホテル富山、ホテルアソシア静岡、松山全日空ホテル、ホテルクレメント宇和島、ホテル日航高知旭ロイヤル、ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート、リザンシーパークホテル谷茶ベイ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
FD(ファカルティ・ディベロップメント)による職能開発や人間的魅力の向上を図り、その成果をクライアントに還元するための研修を実施することを目的とし、集合研修、派遣研修、OJT研修、通信教育を受講する機会を設けており、コンプライアンスマニュアルの「研修規定」に定めている。  
集合研修は、対象教職員を一堂に集め、内部または企業等からの外部講師により、その能力向上のために実施するものであり、「育成計画研修」「職務別研修」「リーダー研修」「人権研修」の4つの区分に基づいた研修計画を立て、教職員一人ひとりの能力の向上が学校全体の力になるよう取り組んでいる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

- 放送作家から学ぶ究極のコミュニケーション研修(学内研修)
- 教員研修会「アクティブラーニングについて」(京都府専修学校各種学校協会)
- ビジネスコーチングセミナー(学内研修)
- 関西ブライダルビジネス懇話会特別例会(関西ブライダルビジネス懇話会)
- BIAブライダルコーディネーター養成講座(公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会)

②指導力の修得・向上のための研修等

- 海外展開に向けた留学生等外国人留生活活用セミナー(公益財団法人大学コンソーシアム京都)
- 「いま、考える専門図書館の危機管理」(専門図書館協議会)
- 大和学園のライブラリーの取り組みと効果的な利用方法について(学内研修)
- マーケティングとは？『数字の世界と思われがちなマーケティング…果たしてそうなのか？』(オータパブリケーションズ)
- 適切な人事管理(学内研修)
- エクセレント・アカデミーを創るには(学内研修)
- 「図書、雑誌の修復について」(専門図書館協議会)
- ホスピタリティ・セミナー(トーマス アンド チカライシ株式会社)
- 大学・短期大学等就職部ご担当者と企業採用ご担当者との合同セミナー(京都経営者協会)
- 「ホテル業界で勝ち残る秘訣と求められる人材」(大阪学院大学ホスピタリティンダストリー研究所)
- 産学連携ツーリズムセミナー(公益社団法人日本観光振興協会)
- 「職業実践専門課程」の第三者評価フォーラム2017(職業実践専門課程)の各認定要件等に関する先進的取組の推進連絡調整会議
- FDフォーラム(公益財団法人大学コンソーシアム京都)

(3) 研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

- 関西ホテルズセミナー(オータパブリケーションズ)
- ホスピタリティンダストリー研究所 講習会(大阪学院大学ホスピタリティンダストリー研究所)
- ブライダル経営者サミット(ウエディングジャーナル)
- 銀座ブライダルアカデミー(ブライダル産業新聞社)
- BIAブライダルコーディネーター養成講座(公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会)
- BIA教職員セミナー(公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会)
- KBCセミナー(関西ブライダルビジネス懇話会)

②指導力の修得・向上のための研修等

- 求める人材・育てる人材交流会(京都商工会議所)
- 専門図書館関西セミナー(専門図書館協議会)
- 専門図書館協議会全国研究集会(専門図書館協議会)
- ディベート研修(学内研修)
- 大学・短期大学等就職部担当者セミナー(京都経営者協会)
- 京都商工会議所ビジネスセミナー(京都商工会議所)
- 現代の学生気質と対応方法について(学内研修)
- 授業力向上研修(学内研修)
- チームビルディング研修(学内研修)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、企業等の役員および卒業生で組織される学校関係者評価委員会を設置している。この委員会は、本校が経営の現状と課題について適切に把握し、教育活動及びその他学校運営の改善を的確に行おうとしているかについて、客観的に評価することを目的としている。評価結果やいただいた意見に対する改善方法について、今後の教育活動及びその他学校運営に活かしていくとともに、ホームページに掲載し広く社会に公表することでより多くのステークホルダーの理解促進や提携協力につなげ、さらなる学校運営の改善を図っていく。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか</li> <li>・学校における職業教育の特色は何か</li> <li>・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか</li> <li>・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか</li> <li>・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</li> </ul>
(2) 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>・運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</li> <li>・人事、給与に関する規程等は整備されているか</li> <li>・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> <li>・情報システム化等による業務の効率化が図られているか</li> </ul>

(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。</li> <li>・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか</li> <li>・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか</li> <li>・授業評価の実施・評価体制はあるか</li> <li>・職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・職員の能力開発のための研修等が行われているか</li> </ul>
(4)学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・退学率の低減が図られているか</li> <li>・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</li> <li>・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか</li> </ul>
(5)学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援は行われているか</li> <li>・保護者と適切に連携しているか</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> </ul>
(7)学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</li> <li>・学納金は妥当なものとなっているか</li> </ul>
(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>・財務情報公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> </ul>
(10)社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</li> <li>・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</li> <li>・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</li> </ul>
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか</li> <li>・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか</li> <li>・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか</li> <li>・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。



(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- 教育理念・目標「学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などを学生・保護者等に周知していくことが、口コミにつながり、入学希望者の増加にもつながるのではないか。⇒就職支援に関する保護者説明会を実施し、保護者に対して、一定の情報を提供した。
- 教職員の資質、能力の向上は必ず学生への貢献につながる⇒全体的な研修の実施と受講に加えて、各種協会や団体、企業が行っている研修やセミナーに積極的に参加した。
- 学生に対する経済的な支援体制を強化すべきである⇒本校独自の奨学金の充実を図ると同時に、行政主体の奨学金の申請や日本学生支援機構の奨学金サポートをきめ細かく対応した。
- ボランティア活動を通しての地域貢献は学外へのアピールのもつなげるため勢力的に取り組むべき⇒学校行事として清掃活動に取り組んだ。また、教職員については、月1回の地域の清掃活動に参加した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
林 恵子	京都ブライトンホテル 総支配人	平成29年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
金杉 有紀	バリューマネジメント株式会社 人材開発部 マネージャー	平成29年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
久本 健司	株式会社JTB西日本 京都支店 営業第三課 課長	平成29年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
柿原 宏幸	キャリアールホテル旅行専門学校 同窓会長	平成29年4月1日～平成30年3月31日	卒業生
水野 裕士	学校法人 大和学園 評議員 京都栄養医療専門学校 副校長	平成29年4月1日～平成30年3月31日	有識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
 (例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

公表方法・・・ホームページ 公表時期・・・平成29年10月頃

<http://www.kyoto-carriere.ac.jp/greeting/evaluation.php>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の業界関係者をはじめ、本校のステークホルダーである保護者、高校の教員卒業生等に対し、透明性を持って説明責任を果たすためにホームページを通じて、教育活動や学校運営に関する情報を積極的に発信する。また、「教育事業そのもので社会に貢献していく」という考えを軸に取り組んできたCSV活動、そして行政・地域・企業との連携によるCSV活動を中心に学園の概要とあわせて「ホスピタリティ・レポート」としてまとめ、ステークホルダーに配布するとともにホームページに掲載する。さらに冊子に掲載しきれない財務諸表や教職員データ等は「大和学園データ集」として詳細を公表する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	●理念・ビジョン ●アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー ●校長名、所在地、連絡先等 ●学校の沿革
(2) 各学科等の教育	●入学者数、収容定員、在学学生数 ●カリキュラム ●卒業要件 ●取得資格、取得を目指す資格・検定 ●資格取得、検定合格等の実績 ●卒業者数、卒業後の進路(主な就職先)
(3) 教職員	●教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	●キャリア教育の取組状況 ●実習・実技等の取組状況 ●就職支援等の取組状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	●学校行事の取組状況 ●課外活動(サークル活動等)
(6) 学生の生活支援	●学生支援への取組状況
(7) 学生納付金・修学支援	●学費、納入時期等 ●奨学金等
(8) 学校の財務	●資金収支計算書、収支収支計算書
(9) 学校評価	●自己評価 ●学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	●留学生の受入状況 ●留学生募集要項
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

<http://www.kyoto-carriere.ac.jp/>

授業科目等の概要

商業実務専門課程 ブライダル学科 ブライダルコース 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職対策Ⅰ	社会の仕組みや“仕事”について、また、将来目指す業界・職種についての理解を深めます。個人ワークやグループワーク、現場の方の講演等を通じて正しい職業観を持つとともに、業界・職種の現状について正しく理解し、「なりたい気持ち」「なりたい目標」を叶えるための具体的な行動に移しましょう。※夏季インターンシップの事前指導も行います。	1・前	30		○			○		○		○
○			自己分析	自己分析とは「自分を理解すること」です。この授業を通じて、自分にはどのような特性があるのか、それをどのような表現で伝えればよいのか、目指す業界が求める人材や能力は何かなど、様々な方法で見つけます。自己や仕事の認識を深めることは就職活動において自信を持ってアピールすることにつながります。また、授業内で作成した「自分手帳」を活用し、今後の学生生活における目標とそれを実現させるためのプロセスを計画し、具体的な行動計画を見つけます。	1・前	30		○			○			○	○
○			今すぐ役立つ文章表現演習	文章を作成するうえで必要かつ基礎的な知識と、読み手を意識して書く姿勢を身につけることを目指します。また、授業内の「読書時間」を通じて日本語文章の基本的なルール構成を学び、実際に書いてみることや、読み手の視点からよりよい文章について考えるワークを行います。文章を分析したり作成したりする演習を通して様々なタイプの文章を自分の力で作成できる能力を養います。	1・前	30		○			○			○	○
○			正しい敬語	なぜ敬語が必要なのか、重要性を理解し、早い段階から社会人として通用する敬語の基本を身につけます。自己紹介やお客様への話し方のロールプレイングを通して、自分の言葉遣いのレベルを認識し、自分のくせ、若者言葉、曖昧な言葉などをチェックします。あらゆる年代、立場の方と、自信をもってコミュニケーションを図ることのできる信頼関係の構築力を養います。また、声の使い方によって、優しさ、親しみやすさ、柔らかさの表現ができることを学び、ブライダル業界で求められる安心感のある対応力を身につけます。	1・前	15		○			○			○	○
○			就職試験筆記対策Ⅰ	企業の採用試験を受ける場合、面接の前に一般常識テストやSPIのテストが課されることが多くなっています。これらの筆記試験に合格しなければ、面接をしてもらうことはできませんので、筆記試験の対策を怠ると、就職活動はいばらの道になってしまいます。この授業では、社会人として最低限身につけておきたい一般常識を中心に学習します。特によく試験に出るジャンル（政治・経済、国際、社会、地理・歴史、文化・スポーツ、国語、英語、理科・数学）において多くの問題を解いて、筆記試験に自信をつけます。	1・後	30		○			○			○	○
○			就職対策Ⅱ	就職活動の流れやポイントを理解し、採用試験突破に必要とされるプレゼンテーション能力（文章表現力・面接表現力）を身に付けていきます。様々な面接官による面接練習によって多くの刺激を得て気づきや発見をし、就職活動を進めていく力・突破していく力を身に付けます。	1・後	30		○			○			○	○
○			京都婚礼文化論	婚礼は人生儀礼の中でも華やかなものとして知られていますが、伝統やしきたりを踏まえた上の儀礼であるとうことも忘れてはならない点です。うわべの華やかさだけではない、伝統やしきたりに裏打ちされた美しさを知るべく、京都を意識しつつ展開し、学びを深めます。	2・前	30		○			○	○		○	○
○			就職試験筆記対策Ⅱ	採用試験における筆記試験対策は少しずつでも継続して行う必要があります。また、試験を目前に控えた時期に問題を解くことで、試験に対する自信をつけることができます。この授業では、非言語（数学）と言語（国語）に分けて学習を進め、前年に学習した基礎的な内容に加え発展問題による対策も行います。非言語（数学）では、基本的な計算方法を習得し、素早く正解を導き出せる計算力を身につけ、言語（国語）では、問題を解くために必要な語彙力や読解力を高めまます。SPIは、試験範囲が非常に広いため、授業の中でより多くの問題を解いて実力をつけましょう。	2・前	30		○			○			○	○
○			就職試験面接対策	本番の就職試験を想定した実戦力を養い、就職戦線に勝ち残るための就職プレゼンテーション能力の向上を図っていきます。接客業を目指すみなさんにとっては、採用試験における面接の比重が大きく、面接における表現力を高めるトレーニングは欠かせません。この授業では、本番を想定した集団面接・個人面接を実施することにより、面接表現力を高めていくことを中心に、文章表現力についても実戦力を身につけ、総合的に就職プレゼンテーション能力を向上させます。	2・前	30		○			○			○	○
○			ブライダル業ホスピタリティサービス	ホスピタリティとは、自分を知り、他者を知ったうえで、お互いの違いを認識しつつも認め合う心持ちです。価値観や考え方の違いを理解し、寄り添い歩み寄ろうとする気持ちと行動は、ホスピタリティを伝えるサービスの基本です。この授業では、様々なワークや手話、体得や高齢者施設訪問などの実践を通してホスピタリティとは何かを深く考えます。また、相手の要望を引き出し、期待以上のサービスを実践すべく、より細やかなホスピタリティ・サービススキルの向上や、社会に出てからも応用でき、柔軟かつパーソナルに対応できる「人間力」を養います。	2・後	30		○			○	○		○	○
○			ブライダル業界研究	ひとくちにブライダル業界といっても、その職種・仕事内容は様々です。ウェディングプランナー、ドレススタイリスト、ブライダルアテンダー、ホテルやゲストハウス・レストランで働く婚礼スタッフと多岐にわたります。本科目では躍進目覚しいウェディングプロデュース会社や、人気ホテル、そして好調に業績を推移させているブライダル関連企業について、業界研究を行い今後の就職活動に役立てることを目的とします。また、ゲストハウスの見学を通して具体的な仕事のイメージをつかみます。	1・前	30		○			○			○	○



分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			ブライダル総論	結婚は人のライフサイクルにおいて、重大な出来事のひとつに位置づけられています。近年、少子化・非婚化・晩婚化などの伸展により、婚姻数は減少傾向にあるものの、結婚観や価値観の多様化、結婚を取り巻くビジネスは盛んな傾向にあります。将来、ブライダル業界で活躍し、大切なお客様の「ハレ」の日をお預かりするためには、様々な知識や経験が必要とされます。本科目ではビジネスとしてのブライダルの概略を把握し、ブライダル業界で活躍するために必要となる基本知識を理解していきます。	1・前	30		○			○			○		
○			ホテル概論	ホスピタリティ産業において、その中心にあるホテルでは様々なスタッフが働き、日々お客様の満足が得られるよう接客にあたっています。プロのホテルマンとしてお客様にホスピタリティ溢れるサービスを提供するために、ホテルではどんな組織が生まれ、それぞれがどんな役割を担っているかをセクションごとに関わり、業務内容を把握し、最終的にはホテル全体の概要を理解します。ブライダル業界を目指す皆さんが、ホスピタリティの集合体と呼ばれるホテルサービスを学習することによって、将来ブライダル業界で必要とされる社会人基礎力（挨拶、笑顔、身だしなみ、自分で考え自分で動く）を養います。	1・前	30		○				○			○	
○			ホテル業界研究	本科目はホテル業界を目指す皆さんのために、就職対象となる全国各地のホテルを業種別、業態別に分類し、それぞれのホテルの持つ特徴や運営内容などを学び、2年次に訪れる就職活動に役立てる事を目的としています。ホテルを就職対象とする場合、施設の規模だけを見て判断する方が多く見受けられますが、皆さん一人一人が本当にホテルに貢献し、また自分自身も仕事へのやりがいを感じられるかどうかは、表面的な部分だけ見たのでは理解できません。より深くそのホテルを知ることが重要です。	1・前	30		○				○			○	
○			レストランサービス演習	この授業ではホテルサービス実習室において、レストランや宴会等、料飲サービスに必要な知識や技術を身につけます。まずはお客様に対して清潔感ある印象を与える事の出来るよう、身だしなみを整えることから始まり、什器備品の名称や用途を理解し、ホールの準備、テーブルセッティングと進めていきます。実際のお客様の来店を想定した迎賓の仕方、着席の補助からオーダーテイクの方法、料理の提供方法、送賓の仕方など、レストランサービスや宴会サービスに必要な基本動作を繰り返し行い、夏季インターンシップ研修での対応力を身につけます。	1・前	30			○			○			○	
○			婚礼調理実習	フランス、日本料理の婚礼で使用される基本的な食材の特徴と調理法を学ぶと同時に、調理に必要な衛生観念を習得します。また調理器具の名称や基本的な取扱いを学ぶことにより、社会で臨機応変に幅広く活躍できる知識と技術を身に付けます。調理実習では基本的な料理を習得すると共に、料理の最良の状態を知る事を学びます。またテーブルセッティングを施しての試食を行うことにより、サービスの技術を学習します。調理実習を通してお客様に付加価値のあるプレゼンテーションができる知識を身に付けます。	1・前	30					○	○			○	○
○			HRS特講Ⅰ	本講では、サービス接遇において唯一の国家技能検定試験である、社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会主催の「料飲サービス技能士」3級の合格を目指す対策授業です。単に対策授業としてではなく、お客様と接する接遇話法や立ち居振る舞い、ワインやビバレッジの知識やサービス方法、調理方法や、レストランでの準備、点検、外客をもてなす為の国際儀礼など、将来必ず役立つであろう幅広い知識を学習する講座でもあります。サービス技能検定は問題を暗記しても合格しません。如何に内容を理解し自分のものとなるように学習することが合格への近道となるのです。	1・後	30		○				○			○	
○			カラーコーディネート	色は、私達の生活の様々なところに使われています。衣・食・住のどの分野でも色彩が大きく影響します。ホテルやブライダルにおいても色彩の演出効果は注目をあび、テーブル、衣裳、ブーケ、ライティングなどトータルなカラーコーディネートがもたらされています。感覚的な色の捉え方だけではなく、体系的に色を分類し、色彩に関する基礎や色彩の心理を学びます。また演習をとおして、楽しみながら色彩感覚や感性を磨き、配色調和を習得します。文部科学省後援色彩能力検定3級の内容に即し、検定のための基礎を固めます。パーソナルカラー分析（似合う色）の手法も体験し、布を使って色の効果を習得します。	1・後	30		○				○			○	
○			ブライダルサービス	現在ブライダル業界では、従来の挙式・披露宴に加えて、ロビーやガーデンでの人前式、ゲストハウス、レストラン、国内外リゾートウエディングなど様々なスタイルの挙式及び披露宴が行われています。挙式、披露宴を中心とする婚礼商品に関連して提供される一連のサービスを「ブライダルサービス」と位置づけ、お客様の一生に一度というメモリアル性が強いブライダルの仕事に携わる者としての自覚と責任を持ち、感動や驚きを創出できる豊かな人間性とホスピタリティマインドを兼ね備えた人材となるために、サービス側の視点からブライダルビジネスにおける実務のあり方の基礎を学習します。	1・後	30		○				○			○	
○			ブライダル企業研究	就職活動において企業研究は不可欠です。本科目では、ブライダル企業について研究を行い今後の就職活動に役立てるとともに、実際にゲストハウス見学・ホテルウエディング見学へ行き研究を深めます。また、ブライダル企業の方々を招聘したセミナーにより、企業がどのような人材を求めているか、自分がこれから何をすれば良いかについて理解し、就職活動に活かします。ブライダル企業を知ることにより、就職活動で自ら企業を研究していく力を身につけます。	1・後	30		○				○			○	
○			ブライダルコスチューム	人生の中で最も輝く時間である結婚式。その晴れの日にお召しになる運命の一着のためにコスチュームの個々の要素を理解し、ドレスだけではなく和装、そしてアクセサリ・ウエディングベール・パンプス・ブライダルインナーまでトータルな専門知識を身につけ、ブライダリストのプロフェッショナルとして、お客様への提案力も身につけます。	1・後	30			○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			レストランウェディングサービス演習	前期レストランサービス演習においては、インターンシップ研修に必要な知識と基本技術を学び、反復練習を行い対応力を身につけました。後期本科目では、インターンシップ研修の振り返りを行い、自身に不足していたサービスの知識と技術を補う実習を展開します。また西洋料理や飲料の基礎を学習し、レストランサービスに必要な知識と技術をさらに向上させ、2年次に挑戦する国家資格のレストランサービス技能検定（通称：HRS）へと繋がります。またレストランウェディングにおけるテーブルセッティングや料理提供方法等を、シミュレーションを通して身につけ、2年次のウェディングパーティ演習へと活かします。	1・後	30			○		○					
○			インターンシップⅠ（ホテル基礎実習）	ホテルの各セクションで業務を行うことで、ホテルで働く厳しさや喜びを体験し、前向きで正しい職業観を醸成するとともに、礼儀や言葉遣いなど社会人として基本的な能力の必要性を学ぶ。ホテルでの4週間必修制となり、①ホスピタリティマインドの修得②会社組織の把握③専門知識・技能の修得を目指した研修内容とする。	1・後	160				○		○				○
○			コスチュームコーディネート	新郎・新婦を最高に輝かせるブライダルスタッフとしての責任と喜びを学びます。お二人のご希望以上のスタイルの実現に向け、また御家族様のお喜びをより深いものにするためにもコーディネーター力は勿論のこと、社会人としても信頼されるバランス感覚の優れたブライダルスタッフが必要とされています。コスチュームの基礎知識を踏まえ実践学習を通じ、実社会で即戦力となるスキルを学びます。	2・前	30			○		○					○
○			HRS 特講Ⅱ	本講では、サービス接遇において唯一の国家技能検定試験である社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会主催の「料飲サービス技能士」3級の合格を目指し学習します。2年次では主に料飲接遇サービスを学習します。また、後半では過去10年間の学科試験問題を行います。暗記ではなくより一層の理解をするために取り組み、確実に把握できるように学習を行います。この技能審査試験に合格するという事は、レストランなどで働くための高い知識と接遇技能が備わっていると公証するものであり、社会的・経済的地位の向上に資する国家試験といえるでしょう。	2・前	30			○		○					○
○			HRS 特講Ⅲ	本講は、サービス接遇において唯一の国家技能検定試験である社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会主催の「レストランサービス技能士」3級の合格を目指し学習します。この特講Ⅲの講義は、単に過去問題の暗記ではなく、学科試験の夏季集中講座としてより一層理解力を高めるために取り組み、確実に内容の把握をするように学習を行います。この技能審査試験に合格するという事は、レストランなどで働くための高い知識と接遇技能が備わっていると公証するものであり、社会的・経済的地位の向上に資する国家試験といえるでしょう。	2・前	30			○		○					○
○			色彩検定特講Ⅰ	色彩検定3級合格を目指し、「色の働き」「光と色」「色の表示」「色彩心理」「色彩調和」「ファッション」「インテリア」について学ぶ。	2・前	30			○		○					○
○			色彩検定特講Ⅱ	色彩検定3級合格を目指し、「色の働き」「光と色」「色の表示」「色彩心理」「色彩調和」「ファッション」「インテリア」についての模擬テストを行い実力をつけます。	2・前	15			○		○					○
○			ブライズビューティー	ブライダルスタイリストの仕事は、結婚式の一番の主役『花嫁』をいかに綺麗に見せる事が出来るかが求められます。業界専門性と接客術、コーディネーターのセンスを学ぶとともに、「最高に綺麗な自分で臨みたい！」そんな花嫁たちの願いをかなえるために、ブライダルスタイリストが、そのほかのスタイリスト（美容師）との架け橋となるようにします。本科目では、『ヘアメイク、ネイル、エステ』のブライダルビューティをトータルにとらえ、最新事情を知り、より良いアドバイスが出来るようにします。	2・前	30			○		○					○
○			ブライダルマーケティング	現在ブライダル業界は少子高齢化、晩婚化、女性の積極的社会進出等の影響を受け、対象者の結婚観の変化により、新たなブライダルマーケティングの創造と展開が必要とされます。人生の一大イベントであるブライダルにおいて、お客様満足度を追求したプランや商品を企画・提案・販売するマーケティング業務は、多様なスキルと人間の魅力が要求されます。今後さらに様々な変化が予測される中、ブライダル業界に属する各企業がマーケット現状をどのように受け止め、方向付けするかが優劣を決定づける大きなポイントとなります。本科目ではブライダルビジネスにおいて、重要な役割を担うマーケティング活動について体系的に学習します。	2・前	30			○		○					○
○			ウェディングパーティ演習Ⅰ	「人生最大のイベント」と形容されるブライダルは人生の過程において最も華やかで、豪華なイベントのひとつです。本科目では最も華やかであり、「想い」を「形」として表すことのできるウェディングパーティに特化し、現場で即戦力となる中核的専門人材を輩出するため、ウェディングパーティの迎賓から送賓までを再現します。またウェディングパーティ演習Ⅱでは実際の料理を使用し、ウェディングパーティサービスをシミュレーション形式で習得します。学生相互のコミュニケーションについてもウェディングパーティ演習Ⅰと同様、積極的に取り合う意識を持ち、協働することの大切さや重要性を学習します。	2・前	30			○		○					○
○			ABC検定特講Ⅰ	婚礼の形態は個性化の時代と言われており婚礼儀式は多様化しています。個性化・多様化するお客様のニーズに対し、幅広い知識をもち、様々な事柄に対処しながらお客様に対して適確なアドバイスができる人材が求められるようになります。将来ブライダル業界で活躍を目指す人たちが、お客様のニーズに応えるべく実施される検定がアシスタント・ブライダル・コーディネーターになります。本科目では、検定に合格する為のブライダル業界で求められる実務知識の習得を目標とします。	2・後	30			○		○					○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			ABC検定特講Ⅱ	婚礼の形態は個性化の時代と言われており婚礼儀式は多様化しています。個性化・多様化するお客様のニーズに対し、幅広い知識をもち、様々な事柄に対処しながらお客様に対して適確なアドバイスができる人材が求められるようになりました。将来ブライダル業界で活躍を目指す人たちが、お客様のニーズに応えるべく実施される検定がアシスタント・ブライダル・コーディネーターになります。本科目では、ABC検定特講Ⅰに続き検定に合格する為のブライダル業界で求められる実務知識の習得を目標とします。	2・後	30		○			○			○		
○			ウエディングパーティ演習Ⅱ	「人生最大のイベント」と形容されるブライダルは人生の過程において最も華やかで、豪華なライフイベントのひとつです。本科目では最も華やかであり、「想い」を「形」として表すことのできるウエディングパーティに特化し、現場で即戦力となる中核的専門人材を輩出するため、ウエディングパーティの迎賓から送賓までを再現します。またウエディングパーティ演習Ⅱでは実際の料理を使用し、ウエディングパーティサービスをシミュレーション形式で習得します。学生相互のコミュニケーションについてもウエディングパーティ演習Ⅰと同様、積極的に取り合う意識を持ち、協働することの大切さや重要性を学習します。	2・後	30			○			○				
○			ブライダルセールス	ブライダルセールスはセールス活動の中でも特に高度なコミュニケーションスキルが要求されます。現在ブライダル業界は少子高齢化、晩婚化、女性の積極的社会進出等の影響を受け、お客様ニーズや価値観が多様化しており、一生に一度というメモリアル性が強いブライダル商品を販売するためには、豊かな人間性とホスピタリティマインドが不可欠です。ブライダルセールスは単に商品を販売するだけでなく、お客様の心の不安を取り除いたり、夢や期待に応えるための的確な提案、助言を行います。結果、ニーズを具体的な形へとコーディネートし、提供することで感動や驚きを創出できるかが問われます。本科目ではブライダルマーケティング業務において、特に重要な役割を担うセールスについて演習形式で学習します。	2・後	30			○			○				
○			フラワーアレンジメント	近年ますます多様化するブライダル産業へのニーズ。それゆえ結婚式や披露宴というセレモニーをトータルにプロデュースするブライダルコーディネーターには、高度な専門知識と優れたセンスが求められています。ブライダルの演出に欠かせないフラワーアレンジメントの最先端の知識とテクニックを学び、シーンに合わせた花のセレクトや、個性の表現方法を身につけ現場レベルでの知識を養います。	2・後	30			○			○			○	○
○			ブライダルプロジェクト	カップルの結婚式に対するニーズが多様化していく昨今、オリジナルウエディングは現在のブライダル業界には欠かせない存在です。本科目ではブライダル企業様から現場における課題をいただき、解決策を各クラスで研究を行い、最終回にはブライダル企業の方々をお招きし、卒業研究発表会をゲストハウスにて実施します。2年間学んだ総まとめとして自分たちの全ての知識を結集し、「ブライダル業界活性化プロジェクト」に取り組みます。	2・後	86			○			○	○	○		○
○			サービスマナー演習Ⅰ	キャリアール・クール・スタンダードを基本とし、社会人としての基礎的なマナーを身につけます。同時にブライダル業界に求められるホスピタリティマインドやコミュニケーションスキルを高めつための知識や技術を学びます。また、知識の習得だけでなく、なぜそれが必要か、サービスマナーの意義を理解しながら、「知る」「行動する」「習慣になる」の流れを作り、現場で活かせる力を養います。	1・前	30			○			○			○	○
○			ディベート・ディスカッション対策Ⅰ	初対面でも自らコミュニケーションを図る積極性を養います。自ら話しかけ、興味を持って「相手を知る」ことや、「自分の考えを伝える」演習を重ね、対話力を養います。さらに、演習を通じてチームワークの大切さや自ら考え動く主体性を養います。ボイスゲームやコミュニケーショントレーニングを実施することで緊張感を和らげ、人前で発言をすることが楽しくなる実践力の向上を目指します。	1・前	15			○			○			○	○
○			パーソナルグレース	ホスピタリティビジネスにおいて最も大切な「ホスピタリティマインド」は、形として表現されてはじめて相手に伝わります。21世紀は個性の時代です。一人一人の持てる秘めた魅力を引き出し、それを表現できるよう様々な角度から指導いたします。また全ての動作の基本である正しい姿勢を反復することで身体の歪みを矯正し、健康的で美しい動作を身につけると同時に、「グレース」の持つ本来の意味「優雅さ・気品」と「自分らしさ」を兼ね備え内面と外面とのバランスの取れた豊かな「Ladies & Gentlemen (紳士淑女)」を目指します。	1・前	30			○			○			○	○
○			ブライダル業のためのICT基礎	「ICT」とはInformation & Communication Technology (情報通信技術)のこと、この科目ではブライダル業界で求められる情報活用能力を身につけます。まずは情報ライブラリー(図書館)で図書や雑誌、新聞記事などの活用方法を学びます。また、個人情報や著作権などの知的財産についての知識を習得します。そしてパソコンを使って、インターネットの活用方法やセキュリティ、情報モラルとともに、Word2013を用いた文書作成やExcel2013での表操作を、「プレゼンテーション演習」「ブライダルプレゼンテーション」での資料作成につなげていきます。	1・前	30			○			○			○	
○			サービスマナー演習Ⅱ	社会に出て、サービス業に就く人材には、基本のマナーはもちろんのこと、様々な場面に必要な対応力が求められます。この授業では、「真のサービスとは何か」を追求し、プラスαの接客スキルを身につけます。さらに、より良い対人関係を築くコミュニケーション力、チームワーク力、自ら考え行動する主体性、課題に対する問題発見、情報整理力などの「社会人基礎力」の向上を目指します。リーディングタイムも実施します。	1・後	30			○			○			○	○
○			ディベート・ディスカッション対策Ⅱ	前期授業で培ったコミュニケーションの必要性を踏まえ、人前で自信を持って自分の意見を伝えるプレゼンテーション能力を養います。伝え方のノウハウを踏まえたうえで「知る」「考える」「行動する」力を身につけ、旅行・ホテル・ブライダル業界で基本となる「対話力」「傾聴力」を養います。また、どのような状況にも対応できる柔軟性を養い、緊張感の中でも自分の考えに自信を持って伝える表現力を身につけます。	1・後	30			○			○			○	○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			ブライダル業のためのICT応用	ブライダル業で求められるICT活用能力をさらに身につけるために、この授業では文書作成、表計算の実習を行います。まず「Word2013」を用い視覚に訴えかけるグラフィカルな文書の作成や、より高度なビジネス文書の作成をします。次に「Excel2013」を使いブライダル業界で必要とされるビジネス文書の作成やデータベースを含むビジネスフォームを作成します。また、Webサイトやモバイルの情報をアプリケーションで活用する方法も紹介していきます。	1・後	30			○		○			○		
○			プレゼンテーション演習	ブライダル業界でも、表現・企画・発表能力は重要視されます。本講座では、スピーチやプレゼンテーションソフト「PowerPoint2013」での発表を行い、「人前に立って話すことに慣れる」ことから「より良い企画や表現を行う」ことを目標とします。また、3分間スピーチで話す訓練を繰り返し、デジタルプレゼンテーションの技術も身につけます。なお、ブライダルプロジェクト（卒業研究発表会）に向けてグループに分かれ業界活性化プランを企画しクラス内で発表を行います。クラスの上位のグループが2年生前期終了時の「プレゼンテーション大会」に出場し、ブライダルプロジェクトにおける研究発表へとつなげていきます。	2・前	58			○			○				
○			接客英会話Ⅰ	ホテル・旅行・ブライダルといった接客の場面で、ますます必要になってきている英語でのコミュニケーション。毎回の授業では、海外からのお客様を迎える様々な場面を中心に、接客する側と接客される側の両方の会話を学びます。また、ロールプレイを通して実際の場面を想定しながら繰り返し発話練習を行い、接客英会話を身につけていきます。外国人講師の生きた英語に触れながら異文化理解を深め、楽しく英語でのコミュニケーションをとれるようになります。	1・前	30			○			○			○	○
○			接客英会話Ⅱ	「接客英会話Ⅱ」では、「接客英会話Ⅰ」に引続き、様々な場面をテーマに英会話を学びます。より幅広い文法ポイントや表現を身に着けることにより、幅広い会話に対応できるように致します。外国人講師が「接客英会話Ⅰ」、「接客英会話Ⅱ」を通して、自信を持って積極的に英語でのコミュニケーションがとれるように、楽しく、丁寧に指導していきます。	1・後	30			○			○			○	○
○			ブライダルMC演習	ブライダルMCに必要な知識と技術を身につけます。挙式、披露宴の内容と進行をMCの立場から捉え、全体の流れを把握します。実習を行うなかでブライダルMCの役割を理解し人前での話し方が身につきます。話すということの心（伝えたいという熱意）、技（伝えるための技術）、体（伝えることができる基礎力）に対応するスキルを体得出来ます。	1・後	30			○			○			○	
○			リゾートウエディング	ウエディングの魅力や特徴に触れることでリゾートウエディングにおける幅広い知識を得るとともに、プラン作成を通して、プランナーに必要な企画力・提案力、お客様が求めるニーズへの対応力など、より実践的な創造力を身につけます。また、現役プランナーなどから実際のエピソードやハプニングを聞くなかで、サービス業の根底となるマナーやホスピタリティの大切さを学び、ウエディング業でのやりがいを見つけていきます。	1・後	30			○			○			○	○
		○	空間コーディネート	近年ますます多様化するブライダル産業へのニーズ。それゆえ結婚式や披露宴というセレモニーをトータルにプロデュースするブライダルコーディネーターには、高度な専門知識と優れたセンスが求められています。ブライダルの演出に欠かせないフラワーアレンジメントの最先端の知識とテクニックを学び、一々に合わせた花のセレクトや、個性の表現方法を身につけ現場レベルでの知識を養います。	2・前	15			○			○			○	○
		○	ウエディングセレモニー	結婚式は多種多様であり、時代の流れにより変遷し現在の多様化に至っています。この科目では、現状のウエディング事情を把握し、基礎知識をふまえた上で多様化するウエディングについての実践力を養います。	2・前	30			○			○			○	
		○	テーブルマナー演習	食することは生命維持の上で必要不可欠なものです。人間にとってはさらにコミュニケーションの手段として重要な位置を占めることは周知の事実として認めざるを得ません。本講座では食べ方以前のコミュニケーションとしての食の空間を捉えた上で、食を媒介したスムーズな人間関係を築く為のテーブルマナーを大枠から導入し、細部に行き渡る配置ができる様に導いていきます。ナイフとフォークの洋食の文化だけでなく、箸・手食の文化も知り得ることが真のテーブルマナーと心得ることも本講座ではおさえます。	2・前	30			○			○	○		○	○
		○	バンケットサービス演習	ブライダル産業では会場の稼働を最大限にするため、婚礼宴会のみではなく、一般宴会や二次会、またケータリングサービスなど幅広いサービスを行い収益の確保を行うことが経営上非常に重視されています。本講座では披露宴会以外的一般宴会を主とし、その運営、企画、サービス、演出方法などの演習形式で学習します。	2・前	30			○			○			○	
		○	和装着付・作法演習	日本人の美意識を育んできた着物文化、民族衣装である着物を通じて和の文化を体感します。着物姿は着こなしと身のこなしによって美しさが表現され、何気ない立ち居振舞から人柄や女らしさを感じられるものです。ファッションの世界でT・P・Oといえ、時間、場所、行事を意味します。装いを決定する大切な要素です。和装は行事によって装いの格が変わり昼、夜に関係なく、結婚式、披露宴という行事のために着物の格を選びます。着物の着付け、和の立ち居振舞を知ることにより、特別な日の花嫁、親族の装いの手助け、アドバイスができるようになります。	2・前	30			○			○			○	○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
		○	インターンシップⅡ（ホテル・ブライダル応用実習）	ホテルやゲストハウスなど婚礼部門にて、各業務を行うことで、ブライダル業界で働く厳しさや喜びを体験し、前向きで正しい職業観を醸成するとともに、礼儀や言葉遣いなど社会人として基本的な能力の必要性を学ぶ。4週間希望制となり、①バンケット業務②アテンド業務③プランナ業務④スタイリスト業務⑤フラワー業務等を経験し専門知識・技能の修得を目指した研修内容とする。	2・前	160			○		○				○	
	○		マナー・プロトコール検定特講	国や宗教が違って他者への思いやりを表現する意識と行動は共通のものがあります。他国や自国の歴史や文化などの違いを学び、互いの習慣やしきたりを尊重することがプロトコールの考え方であり、日常のマナーから実践できる心得が必要です。価値観や習慣の違いを超え、人々がより良いコミュニケーションを図るために長い時間をかけて培ってきた技術や知恵が「マナー」や「プロトコール」であると言えます。社会人に求められるマナーとは何かを知り、相手を思いやる気持ちや心遣いをどのように表現し、行動するのかを理解し、「マナー・プロトコール検定」の合格を目指します。	2・後	30		○			○				○	
	○		婚礼予約実務	ホテルにおける婚礼（宴会）部門は、ホテル収益の大きな割合を占めており、経営を支える重要部門です。婚礼（宴会）予約は宴会場をいかに効率よく回転させ、適正な営業成果を見込んだ上で、ブックコントロールすることが重要な業務となります。一生に一度の結婚披露宴の予約受注から当日まで細部にわたる段取りを行い、また婚礼のみならず各種宴会では、多種多様な催しの予約受注、打合せ、イベント開催における管理業務他、あらゆる知識が要求されます。本科目では婚礼（宴会）予約業務における知識の習得に加えて、実際のケースを想定し、ロールプレイング形式でお客様対応に必要な柔軟性や積極性を習得いたします。	2・後	30		○			○				○	
	○		ブライダルアテンダー演習	アテンダーの語源「attend」には、「共に歩む、付添う、お世話をする」などの意味があります。ブライダルアテンダーとは婚礼当日、新郎新婦はもちろんのこと招待されたゲスト全員が安心して満足いただくために動くスタッフとして幅広くとらえる必要があります。また、お客様との信頼関係を築く為にも接客マナー等も勉強します。そして新郎新婦を精神面でサポートすることもブライダルアテンダーの大きな役割です。この授業では、婚礼当日の流れに沿ったアテンド業務の理解を深め、お客様と共に歩む目線を大切にされたホスピタリティあふれるブライダルアテンダーを目指します。	2・後	30			○		○					○
合計					58科目		1864単位時間（単位）									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：2年以上在学し、所定の課程を修め単位を修得及び本校が定める資格・検定ポイントを取得した者 履修方法：各科目ごとの試験の合格をもって履修したものとする。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
学校法人大和学園 キャリアール ホテル旅行専門学校		平成29年6月11日		楠井 秀和		〒604-8006 京都市中京区河原町二条下る 下丸屋町396番地の3 (電話) 075-241-0191			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人大和学園		昭和29年5月28日		理事長 田中 誠二		〒604-8006 京都市中京区河原町二条下る 下丸屋町396番地の3 (電話) 075-241-0891			
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル学科 ブライダルスタイリストコース			平成22年文部科学大臣告 示第152号				
学科の目的	人間的な能力を高めるための学園共通の教育的視点 1. 真理を愛し、創造性を豊かにする 2. 義務と責任を果たし、社会性を養う 3. 清潔を尊び、礼節をわきまえた人格形成に努める 4. 異なりを認め合い、相互に敬愛する 5. 人に奉仕し、人をもてなし、人を幸せにする								
認定年月日	平成26年3月31日								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技		
2年	昼間	1879	900	789	190	0	0		
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
140人		223人	0人	12人	50人	62人			
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験等を実施し、出席状況・学習態度などを勘案し、A BCにて評価する。				
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月21日～8月31日 ■冬季:12月21日～1月8日 ■春季:3月21日～4月8日 ■学年末:3月31日			卒業・進級 条件	・科目ごとに行われる定期試験に100点法とし、60点以上を 合格とする。 ・各種資格検定取得や課外授業受講ごとにポイント化されて おり、2年間で5ポイント以上取得する。				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・出欠規定をオーバーする前に、個別の連絡や面談などを行 い、指導する。また、状況に応じて保護者へ連絡し、家庭にお いても指導いただく。			課外活動	■課外活動の種類 ・京都府専修学校各種学校協会主催 の体育大会に向けたバレー・卓球チームによる課外活動  ■サークル活動: 無				
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) ・ブライダルハウス チュチュ、バリューマネジメント、アスピカ、 株式会社テイクアンドグヴィ・ニーズ、株式会社しょうざん、株式 会社ティアーズ・ブレイン、株式会社プラス、エスクリ、株式 会社ベルモニー、株式会社プリモ・ジャパン、日比谷花壇、株式 会社プライズワード、株式会社ティアーズ・ブレイン、ALL FOR ONE、株式会社扇屋、株式会社シェーナ(パルティール京 都)、株式会社ベリテ、太閤園、レッジーナ・ミラ、株式会社 HIROTA、NIHO、ブライダルハウス・オエ、その他、ホテルへの 就職も増加している。 ■就職指導内容 1年次より、自己分析やディベート・ディスカッション対策、面接 対策、筆記試験対策などの実践的な授業と並行し、就職対策 I・IIという授業で業界や職種理解、就職活動を進めるにあ たったの心構えや仕事や社会人について、考え、学び、職業 観の醸成に努めている。また、採用試験が始まる時期には、 履歴書、エントリーシートの添削や模擬面接の個別指導を担 任と就職担当とが連携しながら、対応している。			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)				
	■卒業生数	106	人						
	■就職希望者数	101	人						
	■就職者数	101	人						
	■就職率	100	%						
	■卒業者に占める就職者の割合	95.3	%						
	■その他 ・進学者数:	0	人						
	(平成28年度卒業者に関する 平成29年5月1日 時点の情報)								
	資格・検定名								
	種								
	受験者数								
	合格者数								
	レストランサービス 技能検定(国家資 格)	③	106人	100人					
	アシスタント・ブライ ダル・コーディネー ター検定	③	105人	105人					
	色彩検定	③	101人	96人					
	ジュエリーコーデ ィネーター検定	③	30人	30人					
	※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)								
	■自由記述欄								
	●色彩検定 優秀団体賞受賞 ●(BIA)公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 「未来の家族への想い」コンクール 優秀賞、優良賞受賞								



<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 12名 ■中退率 5.24 %  平成28年4月1日時点において、在学者229名（平成28年4月1日入学者を含む）  平成29年3月31日時点において、在学者218名（平成29年3月31日卒業者を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由  進路変更・入学前に興味があった他分野や入学後始めたアルバイトへの進路変更など  学費滞納・学費工面が難しく、期日通りの納入が出来なくなったため</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組  ・入学後、夏休み明けの担任による個人面談  ・週単位での出欠情報を共有化し、タイムリーな指導、サポート  ・1年生前期カリキュラムにおいて、業界・企業研究などによる職業観の醸成  ・本校独自の奨学金制度と学費延納制度、入学前における詳細な学費説明の徹底</p>
<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有  特待生A、特待生B、AO入学奨学金、資格認定奨学金、自宅外通学奨学金、再進学サポート奨学金、同窓生ファミリー奨学金、勉学サポート奨学金、海外留学サポート奨学金、帰国生徒奨学金</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 給付対象</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無  ※有の場合、例えば以下について任意記載  （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）</p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p><a href="http://www.kyoto-carriere.ac.jp/dot_bridal/">http://www.kyoto-carriere.ac.jp/dot_bridal/</a></p>

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

我が国のホスピタリティ産業の次代を担うホテル、ブライダル及び旅行の各スペシャリスト養成教育の質的向上に貢献するため、教育課程編成委員会の委員として産業界、企業等の役職員を選出し、企業等の様々な意見や要請などを十分に活かしながら、実践的かつ専門的そして、先駆的な職業教育モデルを構築し、中核的専門人材の養成教育を展開する。また、生徒のインターンシップやアルバイト、就業先への定期的な訪問やセミナー、講座などによる招聘時に人事や営業担当の方々に対してヒアリングを行い、各授業科目の開設や内容などの改善・工夫などに活用する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は企業等の役員または職員、教職員及びその他必要な委員を持って構成し、教育する分野における人材の専門性に関する動向を十分に把握・分析し、関係業界の要請などを活かした実践的かつ専門的な職業教育を実践するために、カリキュラム編成及び授業計画を提言する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
吉備 有紀	関西ブライダルビジネス懇話会 神戸ポートピアホテル 営業本部 マーケティング室 室長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	①
金杉 有紀	バリューマネジメント株式会社 人材開発部 マネージャー	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	③
楠井 秀和	キャリアールホテル旅行専門学校 校長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
辻 智子	キャリアールホテル旅行専門学校 ブライダル学科 学科長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
加藤 純子	キャリアールホテル旅行専門学校 ブライダル学科 教員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
田中 栄一郎	キャリアールホテル旅行専門学校 ブライダル学科 教員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
小倉 希穂	キャリアールホテル旅行専門学校 ブライダル学科 教員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
鈴木 ゆか	キャリアールホテル旅行専門学校 就職部 部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
畑中 久美子	キャリアールホテル旅行専門学校 広報渉外部 部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
丸岡 文有	キャリアールホテル旅行専門学校 教務部 次長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
山西 真弓	キャリアールホテル旅行専門学校 教務部	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

原則として、年に2回(7月と9月)に開催予定

(開催日時)

第1回 平成29年7月10日(月) 17:00～18:30

第2回 平成29年9月開催予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

本校教育課程やその内容について説明をしたうえで、企業等の見地から現場で必要とされる実践的で専門的な知識や技術、社会人基礎力などについての意見や提言を得る形で進めている。その後、意見等を踏まえて学内の役職者や教員等によるカリキュラム検討委員会にて教育課程の現在の課題や改善等の方向性を検討して、新規科目の開設や授業内容に反映し、教員会の審議を経て、新たな教育課程を編成している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学生が業界や職種について理解し、一人前の職業人となるために、現場経験が豊富でキャリアモデルとして学生の手本となるような講師を紹介いただける企業と連携を行っている。また、派遣いただいた講師には本校の施設設備を活用しながら、業界の最先端の動向を指導いただくとともに、担当科目において業界で必要とされる最低限の知識・技能を身につけたか、学修成果の評価を行っていただける企業を選定している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

一般教養科目、専門教養科目、コミュニケーション科目、語学科目、専門教育科目群のそれぞれの科目において、各企業から講師を招き、理論とともに実習・演習を交えて、目指すべき職業に必要とされる高度な実践力と豊かな創造力を養う授業展開を行っている。学修成果については、それぞれの科目において、学習態度、提出課題、出席などとともに定期試験を行い、一人ひとり成績評価している。

(3) 具体的な連携の例		
科目名	科目概要	連携企業等
就職対策 I	社会の仕組みや“仕事”について、また、将来目指す業界・職種についての理解を深めます。個人ワークやグループワーク、現場の方の講演等を通じて正しい職業観を持つとともに、業界・職種の現状について正しく理解し、「なりたい気持ち」「なりたい目標」を叶えるための具体的な行動に移しましょう。※夏季インターンシップの事前指導も行います。	株式会社ノバレーゼ、高見株式会社、株式会社日比谷花壇、株式会社プリモ・ジャパン、Pacific Diner Service、神戸ポートピアホテル
ブライダル企業研究	就職活動において企業研究は不可欠です。本科目では、ブライダル企業について研究を行い今後の就職活動に役立てるとともに、実際にゲストハウス見学・ホテルウエディング見学へ行き研究を深めます。また、ブライダル企業の方々を招聘したセミナーにより、企業がどのような人材を求めているか、自分がこれから何をすれば良いかについて理解し、就職活動に活かします。ブライダル企業を知ることになり、就職活動で自ら企業を研究していく力を身につけます。	バリューマネジメント株式会社、株式会社プラス、ハイアットリージェンシー大阪、びわ湖大津プリンスホテル、ワタベウエディング株式会社、KOTOWA京都八坂、ホテルモントレ京都
ブライダル業のためのホスピタリティサービス	ホスピタリティとは、自分を知り、他者を知ったうえで、お互いの違いを認識しつつも認め合う心持ちです。価値観や考え方の違いを理解し、寄り添い歩み寄ろうとする気持ちと行動は、ホスピタリティを伝えるサービスの基本です。この授業では、様々なワークや手話、体得や高齢者施設訪問などの実践を通してホスピタリティとは何かを深く考えます。また、相手の要望を引き出し、期待以上のサービスを実践すべく、より細やかなホスピタリティ・サービススキルの向上や、社会に出てからも応用でき、柔軟かつパーソナルに対応できる「人間力」を養います。	face-up
ブライダル業界研究	ひとくちにブライダル業界といっても、その職種・仕事内容は様々です。ウエディングプランナー、ドレススタイリスト、ブライダルアテンダー、ホテルやゲストハウス・レストランで働く婚礼スタッフと多岐にわたります。本科目では躍進目覚ましいウエディングプロデュース会社や、人気ホテル、そして好調に業績を推移させているブライダル関連企業について、業界研究を行い今後の就職活動に役立てることを目的とします。また、ゲストハウスの見学を通して具体的な仕事のイメージをつかみます。	リバースイート京都鴨川迎賓館
インターンシップ I (ホテル基礎実習)	ホテルの各セクションで業務を行うことで、ホテルで働く厳しさや喜びを体験し、前向きで正しい職業観を醸成するとともに、礼儀や言葉遣いなど社会人として基本的な能力の必要性を学ぶ。ホテルでの4週間必修性となり、①ホスピタリティマインドの修得②会社組織の把握③専門知識・技能の修得を目指した研修内容とする。	ホテルグランヴィア京都、ホテルモントレ京都、京都ホテルオークラ、ウェスティン都ホテル京都、ハイアットリージェンシー京都、大阪マリオット都ホテル、スイスホテル南海大阪、セントレジスホテル大阪、帝国ホテル大阪、琵琶湖ホテル、びわ湖大津プリンスホテル、宝塚ホテル、奈良ホテル、ホテルモントレエーデルホフ札幌、パークハイアット東京、ザ・リッツカールトンホテル東京、ANAクラウンプラザホテル富山、ホテルアソシア静岡、松山全日空ホテル、ホテルクレメント宇和島、ホテル日航高知旭ロイヤル、ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート、リザンシーパークホテル谷茶ベイ
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 FD(ファカルティ・ディベロップメント)による職能開発や人間的魅力の向上を図り、その成果をクライアントに還元するための研修を実施することを目的とし、集合研修、派遣研修、OJT研修、通信教育を受講する機会を設けており、コンプライアンスマニュアルの「研修規定」に定めている。 集合研修は、対象教職員を一堂に集め、内部または企業等からの外部講師により、その能力向上のために実施するものであり、「育成計画研修」「職務別研修」「リーダー研修」「人権研修」の4つの区分に基づいた研修計画を立て、教職員一人ひとりの能力の向上が学校全体の力になるよう取り組んでいる。		
(2) 研修等の実績		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 放送作家から学ぶ究極のコミュニケーション研修(学内研修)</li> <li>● 教員研修会「アクティブラーニングについて」(京都府専修学校各種学校協会)</li> <li>● ビジネスコーチングセミナー(学内研修)</li> <li>● 関西ブライダルビジネス懇話会特別例会(関西ブライダルビジネス懇話会)</li> <li>● BIAブライダルコーディネーター養成講座(公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会)</li> </ul>		

②指導力の修得・向上のための研修等

- 海外展開に向けた留学生等外国人留生活活用セミナー(公益財団法人大学コンソーシアム京都)
- 「いま、考える専門図書館の危機管理」(専門図書館協議会)
- 大和学園のライブラリーの取り組みと効果的な利用方法について(学内研修)
- マーケティングとは?『数字の世界と思われがちなマーケティング…果たしてそうなのか?』(オータパブリケーションズ)
- 適切な人事管理(学内研修)
- エクセレント・アカデミーを創るには(学内研修)
- 「図書、雑誌の修復について」(専門図書館協議会)
- ホスピタリティ・セミナー(トーマス アンド チカライシ株式会社)
- 大学・短期大学等就職部ご担当者と企業採用ご担当者との合同セミナー(京都経営者協会)
- 「ホテル業界で勝ち残る秘訣と求められる人材」(大阪学院大学ホスピタリティンダストリー研究所)
- 産学連携ツーリズムセミナー(公益社団法人日本観光振興協会)
- 「職業実践専門課程」の第三者評価フォーラム2017(職業実践専門課程)の各認定要件等に関する先進的取組の推進連絡調整会議
- FDフォーラム(公益財団法人大学コンソーシアム京都)

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

- 関西ホテルズセミナー(オータパブリケーションズ)
- ホスピタリティンダストリー研究所 講習会(大阪学院大学ホスピタリティンダストリー研究所)
- ブライダル経営者サミット(ウエディングジャーナル)
- 銀座ブライダルアカデミー(ブライダル産業新聞社)
- BIAブライダルコーディネーター養成講座(公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会)
- BIA教職員セミナー(公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会)
- KBCセミナー(関西ブライダルビジネス懇話会)

②指導力の修得・向上のための研修等

- 求める人材・育てる人材交流会(京都商工会議所)
- 専門図書館関西セミナー(専門図書館協議会)
- 専門図書館協議会全国研究集会(専門図書館協議会)
- ディベート研修(学内研修)
- 大学・短期大学等就職部担当者セミナー(京都経営者協会)
- 京都商工会議所ビジネスセミナー(京都商工会議所)
- 現代の学生気質と対応方法について(学内研修)
- 授業力向上研修(学内研修)
- チームビルディング研修(学内研修)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、企業等の役職員および卒業生で組織される学校関係者評価委員会を設置している。この委員会は、本校が経営の現状と課題について適切に把握し、教育活動及びその他学校運営の改善を的確に行おうとしているかについて、客観的に評価することを目的としている。評価結果やいただいた意見に対する改善方法について、今後の教育活動及びその他学校運営に活かしていくとともに、ホームページに掲載し広く社会に公表することでより多くのステークホルダーの理解促進や提携協力につなげ、さらなる学校運営の改善を図っていく。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか</li> <li>・学校における職業教育の特色は何か</li> <li>・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか</li> <li>・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか</li> <li>・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</li> </ul>
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>・運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</li> <li>・人事、給与に関する規程等は整備されているか</li> <li>・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> <li>・情報システム化等による業務の効率化が図られているか</li> </ul>

(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。</li> <li>・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか</li> <li>・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか</li> <li>・授業評価の実施・評価体制はあるか</li> <li>・職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・職員の能力開発のための研修等が行われているか</li> </ul>
(4)学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・退学率の低減が図られているか</li> <li>・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</li> <li>・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか</li> </ul>
(5)学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援は行われているか</li> <li>・保護者と適切に連携しているか</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> </ul>
(7)学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</li> <li>・学納金は妥当なものとなっているか</li> </ul>
(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>・財務情報公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> </ul>
(10)社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</li> <li>・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</li> <li>・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</li> </ul>
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか</li> <li>・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか</li> <li>・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか</li> <li>・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。



(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- 教育理念・目標「学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などを学生・保護者等に周知していくことが、口コミにつながり、入学希望者の増加にもつながるのではないか。⇒就職支援に関する保護者説明会を実施し、保護者に対して、一定の情報を提供した。
- 教職員の資質、能力の向上は必ず学生への貢献につながる⇒全体的な研修の実施と受講に加えて、各種協会や団体、企業が行っている研修やセミナーに積極的に参加した。
- 学生に対する経済的な支援体制を強化すべきである⇒本校独自の奨学金の充実を図ると同時に、行政主体の奨学金の申請や日本学生支援機構の奨学金サポートをきめ細かく対応した。
- ボランティア活動を通しての地域貢献は学外へのアピールのもつなげるため勢力的に取り組むべき⇒学校行事として清掃活動に取り組んだ。また、教職員については、月1回の地域の清掃活動に参加した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
林 恵子	京都ブライトンホテル 総支配人	平成29年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
金杉 有紀	バリューマネジメント株式会社 人材開発部 マネージャー	平成29年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
久本 健司	株式会社JTB西日本 京都支店 営業第三課 課長	平成29年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
柿原 宏幸	キャリアールホテル旅行専門学校 同窓会長	平成29年4月1日～平成30年3月31日	卒業生
水野 裕士	学校法人 大和学園 評議員 京都栄養医療専門学校 副校長	平成29年4月1日～平成30年3月31日	有識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
 (例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

公表方法・・・ホームページ 公表時期・・・平成29年10月頃

<http://www.kyoto-carriere.ac.jp/greeting/evaluation.php>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の業界関係者をはじめ、本校のステークホルダーである保護者、高校の教員卒業生等に対し、透明性を持って説明責任を果たすためにホームページを通じて、教育活動や学校運営に関する情報を積極的に発信する。また、「教育事業そのもので社会に貢献していく」という考えを軸に取り組んできたCSV活動、そして行政・地域・企業との連携によるCSV活動を中心に学園の概要とあわせて「ホスピタリティ・レポート」としてまとめ、ステークホルダーに配布するとともにホームページに掲載する。さらに冊子に掲載しきれない財務諸表や教職員データ等は「大和学園データ集」として詳細を公表する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	●理念・ビジョン ●アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー ●校長名、所在地、連絡先等 ●学校の沿革
(2) 各学科等の教育	●入学者数、収容定員、在学学生数 ●カリキュラム ●卒業要件 ●取得資格、取得を目指す資格・検定 ●資格取得、検定合格等の実績 ●卒業者数、卒業後の進路(主な就職先)
(3) 教職員	●教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	●キャリア教育の取組状況 ●実習・実技等の取組状況 ●就職支援等の取組状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	●学校行事の取組状況 ●課外活動(サークル活動等)
(6) 学生の生活支援	●学生支援への取組状況
(7) 学生納付金・修学支援	●学費、納入時期等 ●奨学金等
(8) 学校の財務	●資金収支計算書、収支収支計算書
(9) 学校評価	●自己評価 ●学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	●留学生の受入状況 ●留学生募集要項
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

<http://www.kyoto-carriere.ac.jp/>



授業科目等の概要

商業実務専門課程 プライダル学科 プライダリストコース 平成29年度																		
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 の 連 携		
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任			
	○			就職対策Ⅰ	社会の仕組みや“仕事”について、また、将来目指す業界・職種についての理解を深めます。個人ワークやグループワーク、現場の方の講演等を通じて正しい職業観を持つとともに、業界・職種の現状について正しく理解し、「なりたい気持ち」「なりたい目標」を叶えるための具体的な行動に移しましょう。※夏季インターンシップの事前指導も行います。	1・前	30			○		○				○		
	○			自己分析	自己分析とは「自分を理解すること」です。この授業を通じて、自分にはどのような特性があるのか、それをどのような表現で伝えればよいのか、目指す業界が求める人材や能力は何かなど、様々な方法で見つけます。自己や仕事の認識を深めることは就職活動において自信を持ってアピールすることにつながります。また、授業内で作成した「自分手帳」を活用し、今後の学生生活における目標とそれを実現させるためのプロセスを計画し、具体的な行動計画を見つけます。	1・前	30			○		○				○		
	○			今すぐ役立つ文章表現演習	文章を作成するうえで必要かつ基礎的な知識と、読み手を意識して書く姿勢を身につけることを目指します。また、授業内の「読書時間」を通じて日本語文章の基本的なルール構成を学び、実際に書いてみることや、読み手の視点からよりよい文章について考えるワークを行います。文章を分析したり作成したりする演習を通して様々なタイプの文章を自分の力で作成できる能力を養います。	1・前	30			○		○				○		
	○			正しい敬語	なぜ敬語が必要なのか、重要性を理解し、早い段階から社会人として通用する敬語の基本を身につけます。自己紹介やお客様への話し方のロールプレイングを通して、自分の言葉遣いのレベルを認識し、自分のくせ、若者言葉、曖昧な言葉などをチェックします。あらゆる年代、立場の方と、自信をもってコミュニケーションを図ることのできる信頼関係の構築力を養います。また、声の使い方によって、優しさ、親しみやすさ、柔らかさの表現ができることを学び、プライダル業界で求められる安心感のある対応力を身につけます。	1・前	15				○		○				○	
	○			就職試験筆記対策Ⅰ	企業の採用試験を受ける場合、面接の前に一般常識テストやSPIのテストが課されることが多くなっています。これらの筆記試験に合格しなければ、面接をもらうことはできませんので、筆記試験の対策を怠ると、就職活動はいばらの道になってしまいます。この授業では、社会人として最低限身につけておきたい一般常識を中心に学習します。特によく試験に出るジャンル（政治・経済・国際・社会、地理・歴史、文化・スポーツ、国語、英語、理科・数学）において多くの問題を解いて、筆記試験に自信をつけます。	1・後	30			○		○					○	
	○			就職対策Ⅱ	就職活動の流れやポイントを理解し、採用試験突破に必要とされるプレゼンテーション能力（文章表現力・面接表現力）を身に付けていきます。様々な面接官による面接練習によって多くの刺激を得て気付きや発見をし、就職活動を進めていく力・突破していく力を身に付けます。	1・後	30			○		○					○	
	○			京都婚礼文化論	婚礼は人生儀礼の中でも華やかなものとして知られていますが、伝統やしきたりを踏まえた上の儀礼であるとうことも忘れてはならない点です。うわべの華やかさだけではない、伝統やしきたりに裏打ちされた美しさを知るべく、京都を意識しつつ展開し、学びを深めます。	2・前	30			○		○					○	
	○			就職試験筆記対策Ⅱ	採用試験における筆記試験対策は少しずつでも継続して行う必要があります。また、試験を目前に控えた時期に問題を解くことで、試験に対する自信をつけることができます。この授業では、非言語（数学）と言語（国語）に分けて学習を進め、前年に学習した基礎的な内容に加え発展問題による対策も行います。非言語（数学）では、基本的な計算方法を習得し、素早く正解を導き出せる計算力を身につけ、言語（国語）では、問題を解くために必要な語彙力や読解力を高めます。SPIは、試験範囲が非常に広いので、授業の中でより多くの問題を解いて実力をつけましょう。	2・前	30			○		○					○	
	○			就職試験面接対策	本番の就職試験を想定した実戦力を養い、就職戦線に勝ち残るための就職プレゼンテーション能力の向上を図っていきます。接客業を目指すみなさんにとっては、採用試験における面接の比重が大きく、面接における表現力を高めるトレーニングは欠かせません。この授業では、本番を想定した集団面接・個人面接を実施することにより、面接表現力を高めていくことを中心に、文章表現力についても実戦力を身につけ、総合的に就職プレゼンテーション能力を向上させます。	2・前	30			○		○					○	
	○			プライダル業ホスピタリティサービス	ホスピタリティとは、自分を知り、他者を知ったうえで、お互いの違いを認識しつつも認め合う心持ちです。価値観や考え方の違いを理解し、寄り添い歩み寄りとする気持ちと行動は、ホスピタリティを伝えるサービスの基本です。この授業では、様々なワークや手話、体得や高齢者施設訪問などの実践を通してホスピタリティとは何かを深く考えます。また、相手の要望を引き出し、期待以上のサービスを実践すべく、より細やかなホスピタリティ・サービススキルの向上や、社会に出てからも応用でき、柔軟かつパーソナルに対応できる「人間力」を養います。	2・後	30			○		○					○	
	○			プライダル業界研究	ひとくちにプライダル業界といっても、その職種・仕事内容は様々です。ウェディングプランナー、ドレススタイリスト、プライダルアテンダー、ホテルやゲストハウス・レストランで働く婚礼スタッフと多岐にわたります。本科目では躍進目覚しいウェディングプロデュース会社や、人気ホテル、そして好調に業績を推移させているプライダル関連企業について、業界研究を行い今後の就職活動に役立てることを目的とします。また、ゲストハウスの見学を通して具体的な仕事のイメージをつかみます。	1・前	30			○		○						
	○			プライダル総論	結婚は人のライフサイクルにおいて、重大な出来事のひとつに位置づけられています。近年、少子化・非婚化・晩婚化などの伸展により、婚姻数は減少傾向にあるものの、結婚観や価値観の多様化、結婚を取り巻くビジネスは盛んな傾向にあります。将来、プライダル業界で活躍し、大切なお客様の「ハレ」の日をお預かりするためには、様々な知識や経験が必要とされます。本科目ではビジネスとしてのプライダルの概略を把握し、プライダル業界で活躍するために必要となる基本知識を理解していきます。	1・前	30			○		○						○
	○			ホテル概論	ホスピタリティ産業において、その中心にあるホテルでは様々なスタッフが働き、日々お客様の満足が得られるよう接客にあたっています。プロのホテルマンとしてお客様にホスピタリティ溢れるサービスを提供するために、ホテルではどんな組織が生まれ、それぞれがどんな役割を担っているかをセクションごとに関し、業務内容を把握し、最終的にはホテル全体の概要を理解します。プライダル業界を目指す皆さんが、ホスピタリティの集合体と呼ばれるホテルサービスを学習することによって、将来プライダル業界で必要とされる社会人基礎力（挨拶、笑顔、身だしなみ、自分で考え自分で動く）を養います。	1・前	30			○		○						○
	○			ホテル業界研究	本科目はホテル業界を目指す皆さんのために、就職対象となる全国各地のホテルを業種別、業態別に分類し、それぞれのホテルの持つ特徴や運営内容などを学び、2年次に訪れる就職活動に役立てる事を目的としています。ホテルを就職対象とする場合、施設の規模だけを見て判断する方が多く見受けられますが、皆さん一人一人が本当にホテルに貢献し、また自分自身も仕事へのやりがいを感じられるかどうかは、表面的な部分だけ見たのでは理解できません。より深くそのホテルを知ることが重要です。	1・前	30			○		○						○

分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
								単位	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任		兼任
	○			レストランサービス演習	この授業ではホテルサービス実習室において、レストランや宴会等、料飲サービスに必要な知識や技術を身につけます。まずはお客様に対して清潔感ある印象を与える事の出来るよう、身だしなみを整えることから始まり、什器備品の名称や用途を理解し、ホールの準備、テーブルセッティングと進めていきます。実際のお客様の来店を想定した迎賓の仕方、着席の補助からオーダーテイクの方法、料理の提供方法、送賓の仕方など、レストランサービスや宴会サービスに必要な基本動作を繰り返し行い、夏季インターンシップ研修での対応力を身につけます。	1・前	30			○		○				
	○			婚礼調理実習	フランス、日本料理の婚礼で使用する基本的な食材の特徴と調理法を学ぶと同時に、調理に必要な衛生観念を習得します。また調理器具の名称や基本的な取扱いを学ぶことにより、社会で臨機応変に幅広く活躍できる知識と技術を身に付けます。調理実習では基本的な料理を習得すると共に、料理の最良の状態を知る事を学びます。またテーブルセッティングを施しての試食を行うことにより、サービスの技術を学習します。調理実習を通してお客様に付加価値のあるプレゼンテーションができる知識を身に付けます。	1・前	30				○	○		○	○	
	○			HRS特講 I	本講では、サービス接遇において唯一の国家技能検定試験である、社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会主催の「料飲サービス技能士」3級の合格を目指す対策授業です。単に対策授業としてではなく、お客様と接する接遇話法や立ち居振る舞い、ワインやビバレッジの知識やサービス方法、調理方法や、レストランでの準備、点検、外客をもてなす為の国際儀礼など、将来必ず役立つであろう幅広い知識を学習する講座でもあります。サービス技能検定は問題を暗記しても合格しません。如何に内容を理解し自分のものとなるように学習することが合格への近道となるのです。	1・後	30			○		○		○		
	○			カラーコーディネーター	色は、私達の生活の様々なところに使われています。衣・食・住のどの分野でも色彩が大きく影響します。ホテルやブライダルにおいても色彩の演出効果は注目をあび、テーブル、衣裳、ブーケ、ライティングなどトータルなカラーコーディネートがもたらされています。感覚的な色の捉え方だけではなく、体系的に色を分類し、色彩に関する基礎や色彩の心理を学びます。また演習をとあわせて、楽しみながら色彩感覚や感性を磨き、配色調和を習得します。文部科学省後援色彩能力検定3級の内容に即し、検定のための基礎を固めます。パーソナルカラー分析（似合う色）の手法も体験し、布を使って色の効果を習得します。	1・後	30			○		○		○		
	○			ブライダルサービス	現在ブライダル業界では、従来の挙式・披露宴に加えて、ロビーやガーデンでの人前式、ゲストハウス、レストラン、国内外リゾートウエディングなど様々なスタイルの挙式及び披露宴が行われています。挙式、披露宴を中心とする婚礼商品に関連して提供される一連のサービスを「ブライダルサービス」と位置づけ、お客様の一生に一度というメモリアル性が強いブライダルの仕事に携わる者としての自覚と責任を持ち、感動や驚きを創出できる豊かな人間性とホスピタリティマインドを兼ね備えた人材となるために、サービス側の視点からブライダルビジネスにおける実務のあり方の基礎を学習します。	1・後	30			○		○		○		
	○			ブライダル企業研究	就職活動において企業研究は不可欠です。本科目では、ブライダル企業について研究を行い今後の就職活動に役立てるとともに、実際にゲストハウス見学・ホテルウエディング見学へ行き研究を深めます。また、ブライダル企業の方々を招聘したセミナーにより、企業がどのような人材を求めているか、自分がこれから何をすれば良いかについて理解し、就職活動に活かします。ブライダル企業を知ることに強くなり、就職活動で自ら企業を研究していく力を身につけます。	1・後	30			○		○		○		
	○			ブライダルコスチューム	人生の中で最も輝く時間である結婚式。その晴れの日にお召しになる運命の一着のためにコスチュームの個々の要素を理解し、ドレスだけではなく和装、そしてアクセサリー・ウエディングベール・パンプス・ブライダルインナーまでトータルな専門知識を身につけ、ブライダリストのプロフェッショナルとして、お客様への提案力も身につきます。	1・後	30			○		○		○		
	○			レストランウエディングサービス演習	前期レストランサービス演習においては、インターンシップ研修に必要な知識と基本技術を学び、反復練習を行い対応力を身につけました。後期本科目では、インターンシップ研修の振り返りを行い、自身に不足していたサービスの知識と技術を補う実習を展開します。また西洋料理や飲料の基礎を学習し、レストランサービスに必要な知識と技術をさらに向上させ、2年次に挑戦する国家資格のレストランサービス技能検定（通称：HRS）へと繋がります。またレストランウエディングにおけるテーブルセッティングや料理提供方法等を、シミュレーションを通して身につけ、2年次のウエディングパーティ演習へと活かします。	1・後	30			○		○		○		
	○			インターンシップ I (ホテル基礎実習)	ホテルの各セクションで業務を行うことで、ホテルで働く厳しさや喜びを体験し、前向きで正しい職業観を醸成するとともに、礼儀や言葉遣いなど社会人として基本的な能力の必要性を学ぶ。ホテルでの4週間必修制となり、①ホスピタリティマインドの修得②会社組織の把握③専門知識・技能の修得を目指した研修内容とする。	1・後	160					○		○		
	○			コスチュームコーディネーター	新郎・新婦を最高に輝かせるブライダルスタッフとしての責任と喜びを学びます。お二人のご希望以上のスタイルの実現に向け、また御家族様のお喜びをより深いものにするためにもコーディネート力は勿論のこと、社会人としても信頼されるバランス感覚の優れたブライダルスタッフが必要とされています。コスチュームの基礎知識を踏まえ実践学習を通じ、実社会で即戦力となるスキルを学びます。	2・前	30			○		○		○		
	○			HRS特講 II	本講では、サービス接遇において唯一の国家技能検定試験である社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会主催の「料飲サービス技能士」3級の合格を目指す学習します。2年次では主に料飲接客サービスを学習します。また、後半では過去10年間の学科試験問題を行います。暗記ではなくより一層の理解をするために取り組み、確実に把握できるように学習を行います。この技能審査試験に合格するという事は、レストランなどで働くための高い知識と接客技能が備わっていると公証するものであり、社会的・経済的地位の向上に資する国家試験といえるでしょう。	2・前	30			○		○		○		
	○			HRS特講 III	本講は、サービス接遇において唯一の国家技能検定試験である社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会主催の「レストランサービス技能士」3級の合格を目指す学習します。この特講Ⅲの講座は、単に過去問題の暗記ではなく、学科試験の夏季集中講座としてより一層理解力を高めるために取り組み、確実に内容の把握をするように学習を行います。この技能審査試験に合格するという事は、レストランなどで働くための高い知識と接客技能が備わっていると公証するものであり、社会的・経済的地位の向上に資する国家試験といえるでしょう。	2・前	30			○		○		○		
	○			色彩検定特講 I	色彩検定3級合格を目指し、「色の動き」「光と色」「色の表示」「色彩心理」「色彩調和」「ファッション」「インテリア」について学ぶ。	2・前	30			○		○		○		
	○			色彩検定特講 II	色彩検定3級合格を目指し、「色の動き」「光と色」「色の表示」「色彩心理」「色彩調和」「ファッション」「インテリア」についての模擬テストを行い実力をつけます。	2・前	15			○		○		○		
	○			ブライズビューティ	ブライダリストの仕事は、結婚式の一番の主役『花嫁』をいかに綺麗に見せる事が出来るかが求められます。業界専門性と接客術、コーディネートのセンスを学ぶとともに、「最高に綺麗な自分で臨みたい！」そんな花嫁たちの願いをかなえるために、ブライダリストが、そのほかのスタイリスト（美容師）との架け橋となるようにします。本科目では、『ヘアメイク、ネイル、エステ』のブライズビューティをトータルにとらえ、最新事情を知り、より良いアドバイスが出来るようにします。	2・前	30			○		○		○		

分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
								単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任		兼任
○				ブライダルマーケティング	現在ブライダル業界は少子高齢化、晩婚化、女性の積極的社会進出等の影響を受け、対象者の結婚観の変化により、新たなブライダルマーケティングの創造と展開が必要とされます。人生の一大イベントであるブライダルにおいて、お客様満足度を追求したプランや商品を企画・提案・販売するマーケティング業務は、多様なスキルと人間的魅力が要求されます。今後さらに様々な変化が予測される中、ブライダル業界に属する各企業がマーケット現状をどのように受け止め、方向付けするかが優劣を決定づける大きなポイントとなります。本科目ではブライダルビジネスにおいて、重要な役割を担うマーケティング活動について体系的に学習します。	2・前	30		○		○			○		
○				ウエディングパーティ演習Ⅰ	「人生最大のイベント」と形容されるブライダルは人生の過程において最も華やかで、豪華なイベントのひとつです。本科目では最も華やかであり、「想い」を「形」として表すことのできるウエディングパーティに特化し、現場で即戦力となる中核的専門人材を輩出するため、ウエディングパーティの迎賓から送賓までを再現します。またウエディングパーティ演習Ⅱでは実際の料理を使用し、ウエディングパーティサービスをシミュレーション形式で習得します。学生相互のコミュニケーションについてもウエディングパーティ演習Ⅰと同様、積極的に取り合う意識を持ち、協働することの大切さや重要性を学習します。	2・前	30			○		○				
○				A B C検定特講Ⅰ	婚礼の形態は個性化の時代と言われており婚礼儀式は多様化しています。個性化・多様化するお客様のニーズに対し、幅広い知識をもち、様々な事柄に対処しながらお客様に対して適確なアドバイスができる人材が求められるようになりました。将来ブライダル業界で活躍を目指す人たちが、お客様のニーズに応えるべく実施される検定がアシスタント・ブライダル・コーディネーターになります。本科目では、検定に合格する為のブライダル業界で求められる実務知識の習得を目標とします。	2・後	30			○		○				
○				A B C検定特講Ⅱ	婚礼の形態は個性化の時代と言われており婚礼儀式は多様化しています。個性化・多様化するお客様のニーズに対し、幅広い知識をもち、様々な事柄に対処しながらお客様に対して適確なアドバイスができる人材が求められるようになりました。将来ブライダル業界で活躍を目指す人たちが、お客様のニーズに応えるべく実施される検定がアシスタント・ブライダル・コーディネーターになります。本科目では、A B C検定特講Ⅰに続き検定に合格する為のブライダル業界で求められる実務知識の習得を目標とします。	2・後	30			○		○				
○				ウエディングパーティ演習Ⅱ	「人生最大のイベント」と形容されるブライダルは人生の過程において最も華やかで、豪華なイベントのひとつです。本科目では最も華やかであり、「想い」を「形」として表すことのできるウエディングパーティに特化し、現場で即戦力となる中核的専門人材を輩出するため、ウエディングパーティの迎賓から送賓までを再現します。またウエディングパーティ演習Ⅱでは実際の料理を使用し、ウエディングパーティサービスをシミュレーション形式で習得します。学生相互のコミュニケーションについてもウエディングパーティ演習Ⅰと同様、積極的に取り合う意識を持ち、協働することの大切さや重要性を学習します。	2・後	30			○		○				
○				ブライダルセールス	ブライダルセールスはセールス活動の中でも特に高度なコミュニケーションスキルが要求されます。現在ブライダル業界は少子高齢化、晩婚化、女性の積極的社会進出等の影響を受け、お客様ニーズや価値観が多様化しており、一生に一度というメモリアル性が強いブライダル商品を販売するためには、豊かな人間性とホスピタリティマインドが不可欠です。ブライダルセールスは単に商品を販売するだけでなく、お客様の心の不安を取り除いたり、夢や期待に応えるための的確な提案、助言を行います。結果、ニーズを具体的な形へとコーディネートし、提供することで感動や驚きを創出できるかが問われます。本科目ではブライダルマーケティング業務において、特に重要な役割を担うセールスについて演習形式で学習します。	2・後	30			○		○				
○				フラワーアレンジメント	近年ますます多様化するブライダル産業へのニーズ。それゆえ結婚式や披露宴というセレモニーをトータルにプロデュースするブライダルコーディネーターには、高度な専門知識と優れたセンスが求められています。ブライダルの演出に欠かせないフラワーアレンジメントの最先端の知識とテクニックを学び、シーンに合わせた花のセレクトや、個性の表現方法を身につけて現場レベルでの知識を養います。	2・後	30			○		○			○	
○				ブライダルプロジェクト	カップルの結婚式に対するニーズが多様化していく昨今、オリジナルウエディングは現在のブライダル業界には欠かせない存在です。本科目ではブライダル企業様から現場における課題をいただき、解決策を各クラスで研究を行い、最終日にはブライダル企業の方々をお招きし、卒業研究発表会をゲストハウスにて実施します。2年間学んだ総まとめとして自分たちの全ての知識を結集し、「ブライダル業界活性化プロジェクト」に取り組みます。	2・後	86			○		○	○		○	
○				サービスマナー演習Ⅰ	キャリアール・クール・スタンダードを基本とし、社会人としての基礎的なマナーを身につけます。同時にブライダル業界に求められるホスピタリティマインドやコミュニケーションスキルを高めつつための知識や技術を学びます。また、知識の習得だけでなく、なぜそれが必要か、サービスマナーの意義を理解しながら、「知る」「行動する」「習慣になる」の流れを作り、現場で活かせる力を養います。	1・前	30			○		○			○	
○				ディベート・ディスカッション対策Ⅰ	初対面でも自らコミュニケーションを図る積極性を養います。自ら話しかけ、興味を持って「相手を知る」ことや、「自分の考えを伝える」演習を重ね、対話力を養います。さらに、演習を通じてチームワークの大切さや自ら考え動く主体性を養います。ボイスゲームやコミュニケーショントレーニングを実施することで緊張感を和らげ、人前で発言することが楽しくなる実践力の向上を目指します。	1・前	15			○		○			○	
○				パーソナルグレース	ホスピタリティビジネスにおいて最も大切な「ホスピタリティマインド」は、形として表現されてはじめて相手に伝わります。21世紀は個性の時代です。一人一人の持っている秘めた魅力を引き出し、それを表現できるよう様々な角度から指導いたします。また全ての動作の基本である正しい姿勢を反復することで身体の歪みを矯正し、健康的で美しい動作を身につけると同時に、「グレース」の持つ本来の意味「優雅さ・気品」と「自分らしさ」を兼ね備え内面と外面とのバランスの取れた豊かな「Ladies & Gentlemen (紳士淑女)」を目指します。	1・前	30			○		○				○
○				ブライダル業のためのICT基礎	「ICT」とはInformation & Communication Technology (情報通信技術)のこと、この科目ではブライダル業界で求められる情報活用能力を身につけます。まずは情報ライブラリー (図書館) で図書や雑誌、新聞記事などの活用方法を学びます。また、個人情報や著作権などの知的財産についての知識を習得します。そしてパソコンを使って、インターネットの活用方法やセキュリティ、情報モラルとともに、Word2013を用いた文書作成やExcel2013での表操作を、「プレゼンテーション演習」「ブライダルプレゼンテーション」での資料作成につなげていきます。	1・前	30			○		○				○
○				サービスマナー演習Ⅱ	社会に出て、サービス業に就く人材には、基本のマナーはもちろんのこと、様々な場面に必要な対応力が求められます。この授業では、「真のサービスとは何か」を追求し、プラスαの接客スキルを身につけます。さらに、より良い対人関係を築くコミュニケーション力、チームワーク力、自ら考え行動する主体性、課題に対する問題発見、情報整理力などの「社会人基礎力」の向上を目指します。リーディングタイムも実施します。	1・後	30			○		○			○	
○				ディベート・ディスカッション対策Ⅱ	前期授業で培ったコミュニケーションの必要性を踏まえ、人前で自信を持って自分の意見を伝えるプレゼンテーション能力を養います。伝え方のノウハウを踏まえたうえで「知る」「考える」「行動する」力を身につけ、旅行・ホテル・ブライダル業界で基本となる「対話力」「傾聴力」を養います。また、どのような状況にも対応できる柔軟性を養い、緊張感の中でも自分の考えに自信を持って伝える表現力を身につけます。	1・後	30			○		○			○	

分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
								講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
	○			ブライダルのためのICT応用	ブライダル業で求められるICT活用能力をさらに身につけるために、この授業では文書作成、表計算の実習を行います。まず「Word2013」を用い視覚に訴えかけるグラフィカルな文書の作成や、より高度なビジネス文書の作成をします。次に「Excel2013」を使いブライダル業界で必要とされるビジネス文書の作成やデータベースを含むビジネスフォームを作成します。また、Webサイトやモバイルの情報アプリケーションで活用する方法も紹介していきます。	1・後	30			○	○			○		
	○			プレゼンテーション演習	ブライダル業界でも、表現・企画・発表能力は重要視されます。本講座では、スピーチやプレゼンテーションソフト「PowerPoint2013」での発表を行い、「人前に立って話すことに慣れる」ことから「より良い企画や表現を行う」ことを目標とします。また、3分間スピーチで話す訓練を繰り返し、デジタルプレゼンテーションの技術も身につけます。なお、ブライダルプロジェクト（卒業研究発表会）に向けてグループに分かれ業界活性化プランを企画しクラス内で発表を行います。クラスの上位のグループが2年生前期終了時の「プレゼンテーション大会」に出場し、ブライダルプロジェクトにおける研究発表へとつなげていきます。	2・前	58			○	○			○		
	○			接客英会話Ⅰ	ホテル・旅行・ブライダルといった接客の場面で、ますます必要になってきている英語でのコミュニケーション。毎回の授業では、海外からのお客様を迎える様々な場面を中心に、接客する側と接客される側の両方の会話を学びます。また、ロールプレイを通して実際の場面を想定しながら繰り返し発話練習を行い、接客英会話を身につけていきます。外国人講師の生きた英語に触れながら異文化理解を深め、楽しく英語でのコミュニケーションをとれるようになります。	1・前	30			○	○			○	○	
	○			接客英会話Ⅱ	「接客英会話Ⅱ」では、「接客英会話Ⅰ」に引き続き、様々な場面をテーマに英会話を学びます。より幅広い文法ポイントや表現を身につけることにより、幅広い会話に対応できるように致します。外国人講師が「接客英会話Ⅰ」、「接客英会話Ⅱ」を通して、自信を持って積極的に英語でのコミュニケーションがとれるように、楽しく、丁寧に指導していきます。	1・後	30			○	○			○	○	
	○			ジュエリーコーディネーター検定特講Ⅰ	ブライダルの中で扱われるエンゲージリング、マリッジリング、真珠などは単に身を飾るだけでなく、婚約、結婚の証としての意味を持って選ばれる大切なジュエリーのひとつで、専門知識が必要です。本講は、社団法人 日本ジュエリー協会の認定するジュエリーコーディネーター資格の3級検定合格を目指す検定対策講座です。「ジュエリー概論」「ジュエリー産業論」「宝石の基礎知識」「カラーストーンの基礎・市場に見られるカラーストーン」「ダイヤモンド」「真珠」までを学びます。	1・後	30			○	○			○	○	
	○			ジュエリーコーディネーター検定特講Ⅱ	ジュエリーコーディネーター検定特講Ⅰに引き続き、社団法人 日本ジュエリー協会の認定するジュエリーコーディネーター資格の3級検定合格を目指す対策講座です。「貴金属」「デザインの基礎・製造、加工、修理」「商品概論・商品知識」「販売の基礎知識」「コーディネート」を学びます。	1・後	30			○	○			○	○	
				ジュエリーコーディネーター検定特講Ⅲ	本講では、社団法人 日本ジュエリー協会が認定するジュエリーコーディネーター資格の3級検定合格を目指す、検定試験に向けて模擬試験を実施し重点ポイントの確認と解説を行います。	2・前	15			○	○			○	○	
	○			ジュエリー販売演習	業界の動向や、リングの特徴などの専門知識を学びジュエリーコーディネーターとしての基礎知識を身につけます。また、プロのコーディネーターとして必要な「想像力」と「おもなしの心」を養い、お客様のご要望をお伺いするカウンセリング力と、それに沿った商品を提案する力、それを魅力的に伝えるプレゼン力の3つを実践を通して学びます。	2・前	15			○	○			○	○	
	○			ウエディングセレモニー	結婚式は多種多様であり、時代の流れにより変遷し現在の多様化に至っています。この科目では、現状のウエディング事情を把握し、基礎知識をふまえた上で多様化するウエディングについての実践力を養います。	2・前	30			○	○			○		
	○			初級和装着付・作法演習	近年ますます婚礼の形態は多様化しています。このような中、結婚式や披露宴において様々な事柄に対処しながらお客様に対して適確なアドバイスが出来るような人材が求められています。そのためにもまず、民族衣装である着物を通じて和の文化を体感します。着こなしと身のこなしによって美しさが表現され、人柄や女らしさを感じられるものです。着物の着付け、和の立ち居振舞を学ぶことにより、特別の日の花嫁が最高に綺麗な姿で臨めるような心遣いや配慮が出来るように目指します。	2・前	30			○	○			○	○	
			○	インターンシップⅡ（ホテル・ブライダル応用実習）	ホテルやゲストハウスなど婚礼部門にて、各業務を行うことで、ブライダル業界で働く厳しさや喜びを体験し、前向きで正しい職業観を醸成するとともに、礼儀や言葉遣いなど社会人として基本的な能力の必要性を学ぶ。4週間希望制となり、①バンケット業務②アテンド業務③プランナー業務④スタイリスト業務⑤フラワー業務等を経験し専門知識・技能の修得を目指した研修内容とする。	2・前	160				○	○			○	
	○			フォーマルウエア検定特講	私達を取り巻く日常生活は、日々国際化し、それに伴い様々なフォーマルシーンも増えて来ています。本講座では、日本フォーマル協会が認定するフォーマルスペシャリスト検定準2級（ブロンズライセンス）合格を目指し、ライフスタイルのうつり変わりと共に多様化しつつある時代にフォーマルウエアのドレスコード（服装規定）を中心とした基礎知識を幅広く学び、身につけます。そして、多くの方に豊かで充実したフォーマルシーンのアドバイスの提供をすることが目的です。	2・後	30			○	○			○	○	
	○			パーソナルカラー	カラーコーディネートで習得した知識をさらに発展させてパーソナルカラーについて学びます。スタイリング、デザイン、ラインなどの知識とヘアメイク、バッグ、アクセサリなどの小物との組み合わせなどトータルなカラーコーディネートについて学習します。	2・後	30			○	○			○		
	○			コスチューム販売演習	新郎・新婦を最高に輝かせる衣裳スタイリストとしての責任と喜びを学びます。コスチュームの基礎知識を踏まえたロールプレイングを通し、お客様への提案力を磨き、実社会で即戦力となるスキルを学びます。	2・後	30			○	○			○	○	
	○			上級和装着付・作法演習	人間の素朴な美意識が衣服に絵を描き、または織物で模様を表現するようになって何年も継承されてきました。あるものは千年以上も前から、また江戸時代、友禅染の隆盛期から私達の衣生活に彩りをそえてくれました。婚礼の形態は時代と共に多様化しています。高度な専門知識と優れたセンスが求められています。様々な事柄に対処しながらお客様が結婚式、披露宴のセレモニーで素敵に美しく輝いて頂くための的確なアドバイスができるように、日本人の美意識を育ててきた着物文化を通じて和の文化を学びます。	2・後	30			○	○			○	○	
	○			ブライダルスタイリング	ブライダルスタイリストの仕事は、そのほかのスタイリスト（技術者）との架け橋となるようになります。本科目では、『ヘアメイク、ネイル、エステ』のブライダルビューティをトータルにとらえ、最新事情を知り、スタイリングを学ぶ事により、ビューティアドバイスが出来るようになります。	2・後	30			○	○			○	○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択					講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
合計						59科目	1879	単位時間 (単位)						

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：2年以上在学し、所定の課程を修め単位を修得及び本校が定める資格・検定ポイントを取得した者 履修方法：各科目ごとの試験の合格をもって履修したものとする。	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																							
学校法人大和学園 キャリアール ホテル旅行専門学校		平成29年6月11日		楠井 秀和		〒604-8006 京都市中京区河原町二条下 下丸屋町396番地の3 (電話) 075-241-0191																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																							
学校法人大和学園		昭和29年5月28日		理事長 田中 誠二		〒604-8006 京都市中京区河原町二条下 下丸屋町396番地の3 (電話) 075-241-0891																							
分野	認定課程名	認定学科名				専門士	高度専門士																						
商業実務	商業実務専門課程	ブライダル学科 ウエディングプランナーコース				平成22年文部科学大臣告 示第152号																							
学科の目的	人間的な能力を高めるための学園共通の教育的視点 1. 真理を愛し、創造性を豊かにする 2. 義務と責任を果たし、社会性を養う 3. 清潔を尊び、礼節をわきまえた人格形成に努める 4. 異なりを認め合い、相互に敬愛する 5. 人に奉仕し、人をもてなし、人を幸せにする																												
認定年月日	平成26年3月31日																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																						
2年	昼間	1864	825	849	190	0	0																						
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																							
140人		223人	0人	12人	50人	62人																							
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日				成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験等を実施し、出席状況・学習態度などを勘案し、A BCにて評価する。																							
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:7月21日～8月31日 ■冬季:12月21日～1月8日 ■春季:3月21日～4月8日 ■学年末:3月31日				卒業・進級 条件	・科目ごとに行われる定期試験に100点法とし、60点以上を 合格とする。 ・各種資格検定取得や課外授業受講ごとにポイント化されて おり、2年間で5ポイント以上取得する。																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・出欠規定をオーバーする前に、個別の連絡や面談などを行 い、指導する。また、状況に応じて保護者へ連絡し、家庭にお いても指導いただく。				課外活動	■課外活動の種類 ・京都府専修学校各種学校協会主催 の体育大会に向けたバレー・卓球チームによる課外活動  ■サークル活動: 無																							
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) ・ブライダルハウス チュチュ、バリューマネジメント、アスピカ、 株式会社テイクアンドグヴィ・ニーズ、株式会社しょうざん、株式 会社ティアーズ・ブレイン、株式会社プラス、エスクリ、株式 会社ベルモニー、株式会社プリモ・ジャパン、日比谷花壇、株式 会社プライズワード、株式会社ティアーズ・ブレイン、ALL FOR ONE、株式会社扇屋、株式会社シェーナ(パルティール京 都)、株式会社ペリテ、太閤園、レッジーナ・ミラ、株式会社 HIROTA、NIHO、ブライダルハウス・オエ、その他、ホテルへの 就職指導内容 1年次より、自己分析やディベート・ディスカッション対策、面接 対策、筆記試験対策などの実践的な授業と並行し、就職対策 I・IIという授業で業界や職種理解、就職活動を進めるにあ たったの心構えや仕事や社会人について、考え、学び、職業 観の醸成に努めている。また、採用試験が始まる時期には、 履歴書、エントリーシートの添削や模擬面接の個別指導を担 任と就職担当とが連携しながら、対応している。				主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)																							
		卒業生数	106	人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レストランサービス 技能検定(国家資 格)</td> <td>③</td> <td>106人</td> <td>100人</td> </tr> <tr> <td>アシスタント・ブライ ダル・コーディネー ター検定</td> <td>③</td> <td>105人</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td>色彩検定</td> <td>③</td> <td>101人</td> <td>96人</td> </tr> <tr> <td>ジュエリー・コーデ ィネーター検定</td> <td>③</td> <td>30人</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table>					資格・検定名	種	受験者数	合格者数	レストランサービス 技能検定(国家資 格)	③	106人	100人	アシスタント・ブライ ダル・コーディネー ター検定	③	105人	105人	色彩検定	③	101人	96人	ジュエリー・コーデ ィネーター検定	③	30人	30人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																										
レストランサービス 技能検定(国家資 格)	③	106人	100人																										
アシスタント・ブライ ダル・コーディネー ター検定	③	105人	105人																										
色彩検定	③	101人	96人																										
ジュエリー・コーデ ィネーター検定	③	30人	30人																										
		就職希望者数	101	人	<p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p>																								
		就職者数	101	人	■自由記述欄																								
		就職率	100	%	●色彩検定 優秀団体賞受賞 ●(BIA)公益社団法人日本ブライダル文化振興協会 「未来の家族への想い」コンクール 優秀賞、優良賞受賞																								
		卒業者に占める就職者の割合	95.3	%																									
		その他 ・進学者数:	0	人																									
		(平成 28 年度卒業者に関する 平成29年5月1日 時点の情報)																											



<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 12名 ■中退率 5.24 %  平成28年4月1日時点において、在学者229名（平成28年4月1日入学者を含む）  平成29年3月31日時点において、在学者218名（平成29年3月31日卒業者を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由  進路変更・入学前に興味があった他分野や入学後始めたアルバイトへの進路変更など  学費滞納・学費工面が難しく、期日通りの納入が出来なくなったため</p> <p>■中退防止・中退者支援のための取組  ・入学後、夏休み明けの担任による個人面談  ・週単位での出欠情報を共有化し、タイムリーな指導、サポート  ・1年生前期カリキュラムにおいて、業界・企業研究などによる職業観の醸成  ・本校独自の奨学金制度と学費延納制度、入学前における詳細な学費説明の徹底</p>
<p>経済的支援制度</p>	<p>■学校独自の奨学金・授業料等減免制度： 有  特待生A、特待生B、AO入学奨学金、資格認定奨学金、自宅外通学奨学金、再進学サポート奨学金、同窓生ファミリー奨学金、勉学サポート奨学金、海外留学サポート奨学金、帰国生徒奨学金</p> <p>■専門実践教育訓練給付： 給付対象</p>
<p>第三者による学校評価</p>	<p>■民間の評価機関等から第三者評価： 無  ※有の場合、例えば以下について任意記載  （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）</p>
<p>当該学科のホームページURL</p>	<p><a href="http://www.kyoto-carriere.ac.jp/dot_bridal/">http://www.kyoto-carriere.ac.jp/dot_bridal/</a></p>

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

我が国のホスピタリティ産業の次代を担うホテル、ブライダル及び旅行の各スペシャリスト養成教育の質的向上に貢献するため、教育課程編成委員会の委員として産業界、企業等の役職員を選出し、企業等の様々な意見や要請などを十分に活かしながら、実践的かつ専門的そして、先駆的な職業教育モデルを構築し、中核的専門人材の養成教育を展開する。また、生徒のインターンシップやアルバイト、就業先への定期的な訪問やセミナー、講座などによる招聘時に人事や営業担当の方々に対してヒアリングを行い、各授業科目の開設や内容などの改善・工夫などに活用する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は企業等の役員または職員、教職員及びその他必要な委員を持って構成し、教育する分野における人材の専門性に関する動向を十分に把握・分析し、関係業界の要請などを活かした実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、カリキュラム編成及び授業計画を提言する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
吉備 有紀	関西ブライダルビジネス懇話会 神戸ポートピアホテル 営業本部 マーケティング室 室長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	①
金杉 有紀	バリューマネジメント株式会社 人材開発部 マネージャー	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	③
楠井 秀和	キャリアールホテル旅行専門学校 校長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
辻 智子	キャリアールホテル旅行専門学校 ブライダル学科 学科長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
加藤 純子	キャリアールホテル旅行専門学校 ブライダル学科 教員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
田中 栄一郎	キャリアールホテル旅行専門学校 ブライダル学科 教員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
小倉 希穂	キャリアールホテル旅行専門学校 ブライダル学科 教員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
鈴木 ゆか	キャリアールホテル旅行専門学校 就職部 部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
畑中 久美子	キャリアールホテル旅行専門学校 広報渉外部 部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
丸岡 文有	キャリアールホテル旅行専門学校 教務部 次長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
山西 真弓	キャリアールホテル旅行専門学校 教務部	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

原則として、年に2回(7月と9月)に開催予定

(開催日時)

第1回 平成29年7月10日(月) 17:00～18:30

第2回 平成29年9月開催予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

本校教育課程やその内容について説明をしたうえで、企業等の見地から現場で必要とされる実践的で専門的な知識や技術、社会人基礎力などについての意見や提言を得る形で進めている。その後、意見等を踏まえて学内の役職者や教員等によるカリキュラム検討委員会にて教育課程の現在の課題や改善等の方向性を検討して、新規科目の開設や授業内容に反映し、教員会の審議を経て、新たな教育課程を編成している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学生が業界や職種について理解し、一人前の職業人となるために、現場経験が豊富でキャリアモデルとして学生の手本となるような講師を紹介いただける企業と連携を行っている。また、派遣いただいた講師には本校の施設設備を活用しながら、業界の最先端の動向を指導いただくとともに、担当科目において業界で必要とされる最低限の知識・技能を身につけたか、学修成果の評価を行っていただける企業を選定している。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

一般教養科目、専門教養科目、コミュニケーション科目、語学科目、専門教育科目群のそれぞれの科目において、各企業から講師を招き、理論とともに実習・演習を交えて、目指すべき職業に必要とされる高度な実践力と豊かな創造力を養う授業展開を行っている。学修成果については、それぞれの科目において、学習態度、提出課題、出席などとともに定期試験を行い、一人ひとり成績評価している。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
就職対策Ⅰ	社会の仕組みや“仕事”について、また、将来目指す業界・職種についての理解を深めます。個人ワークやグループワーク、現場の方の講演等を通じて正しい職業観を持つとともに、業界・職種の現状について正しく理解し、「なりたい気持ち」「なりたい目標」を叶えるための具体的な行動に移しましょう。※夏季インターンシップの事前指導も行います。	株式会社ノバレーゼ、高見株式会社、株式会社日比谷花壇、株式会社プリモ・ジャパン、Pacific Diner Service、神戸ポートピアホテル
ブライダル企業研究	就職活動において企業研究は不可欠です。本科目では、ブライダル企業について研究を行い今後の就職活動に役立てるとともに、実際にゲストハウス見学・ホテルウェディング見学へ行き研究を深めます。また、ブライダル企業の方々を招聘したセミナーにより、企業がどのような人材を求めているか、自分がこれから何をすれば良いかについて理解し、就職活動に活かします。ブライダル企業を知ることになり、就職活動で自ら企業を研究していく力を身につけます。	バリューマネジメント株式会社、株式会社プラス、ハイアットリージェンシー大阪、びわ湖大津プリンスホテル、ワタベウェディング株式会社、KOTOWA京都八坂、ホテルモントレ京都
ブライダル業のためのホスピタリティサービス	ホスピタリティとは、自分を知り、他者を知ったうえで、お互いの違いを認識しつつも認め合う心持ちです。価値観や考え方の違いを理解し、寄り添い歩み寄ろうとする気持ちと行動は、ホスピタリティを伝えるサービスの基本です。この授業では、様々なワークや手話、体得や高齢者施設訪問などの実践を通してホスピタリティとは何かを深く考えます。また、相手の要望を引き出し、期待以上のサービスを実践すべく、より細やかなホスピタリティ・サービススキルの向上や、社会に出てからも応用でき、柔軟かつパーソナルに対応できる「人間力」を養います。	face-up
ブライダル業界研究	ひとくちにブライダル業界といっても、その職種・仕事内容は様々です。ウェディングプランナー、ドレススタイリスト、ブライダルアテンダー、ホテルやゲストハウス・レストランで働く婚礼スタッフと多岐にわたります。本科目では躍進目覚しいウェディングプロデュース会社や、人気ホテル、そして好調に業績を推移させているブライダル関連企業について、業界研究を行い今後の就職活動に役立てることを目的とします。また、ゲストハウスの見学を通して具体的な仕事のイメージをつかみます。	リバースイート京都鴨川迎賓館
インターンシップⅠ(ホテル基礎実習)	ホテルの各セクションで業務を行うことで、ホテルで働く厳しさや喜びを体験し、前向きで正しい職業観を醸成するとともに、礼儀や言葉遣いなど社会人として基本的な能力の必要性を学ぶ。ホテルでの4週間必修性となり、①ホスピタリティマインドの修得②会社組織の把握③専門知識・技能の修得を目指した研修内容とする。	ホテルグランドパレス京都、ホテルモントレ京都、京都ホテルオークラ、ウェスティン都ホテル京都、ハイアットリージェンシー京都、大阪マリオット都ホテル、スイスホテル南海大阪、セントレジスホテル大阪、帝国ホテル大阪、琵琶湖ホテル、びわ湖大津プリンスホテル、宝塚ホテル、奈良ホテル、ホテルモントレエーデルホフ札幌、パークハイアット東京、ザ・リッツカールトンホテル東京、ANAクラウンプラザホテル富山、ホテルアソシア静岡、松山全日空ホテル、ホテルクレメント宇和島、ホテル日航高知旭ロイヤル、ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート、リザンシーパークホテル谷茶ベイ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

FD(ファカルティ・ディベロップメント)による職能開発や人間的魅力の向上を図り、その成果をクライアントに還元するための研修を実施することを目的とし、集合研修、派遣研修、OJT研修、通信教育を受講する機会を設けており、コンプライアンスマニュアルの「研修規定」に定めている。

集合研修は、対象教職員を一堂に集め、内部または企業等からの外部講師により、その能力向上のために実施するものであり、「育成計画研修」「職務別研修」「リーダー研修」「人権研修」の4つの区分に基づいた研修計画を立て、教職員一人ひとりの能力の向上が学校全体の力になるよう取り組んでいる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

- 放送作家から学ぶ究極のコミュニケーション研修(学内研修)
- 教員研修会「アクティブラーニングについて」(京都府専修学校各種学校協会)
- ビジネスコーチングセミナー(学内研修)
- 関西ブライダルビジネス懇話会特別例会(関西ブライダルビジネス懇話会)
- BIAブライダルコーディネーター養成講座(公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会)

②指導力の修得・向上のための研修等

- 海外展開に向けた留学生等外国人留学生活用セミナー(公益財団法人大学コンソーシアム京都)
- 「いま、考える専門図書館の危機管理」(専門図書館協議会)
- 大和学園のライブラリーの取り組みと効果的な利用方法について(学内研修)
- マーケティングとは?『数字の世界と思われがちなマーケティング…果たしてそうなのか?』(オータパブリケーションズ)
- 適切な人事管理(学内研修)
- エクセレント・アカデミーを創るには(学内研修)
- 「図書、雑誌の修復について」(専門図書館協議会)
- ホスピタリティ・セミナー(トーマス アンド チカライン株式会社)
- 大学・短期大学等就職部ご担当者と企業採用ご担当者との合同セミナー(京都経営者協会)
- 「ホテル業界で勝ち残る秘訣と求められる人材」(大阪学院大学ホスピタリティンダストリー研究所)
- 産学連携ツーリズムセミナー(公益社団法人日本観光振興協会)
- 「職業実践専門課程」の第三者評価フォーラム2017(職業実践専門課程)の各認定要件等に関する先進的取組の推進連絡調整会議
- FDフォーラム(公益財団法人大学コンソーシアム京都)

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

- 関西ホテルズセミナー(オータパブリケーションズ)
- ホスピタリティンダストリー研究所 講習会(大阪学院大学ホスピタリティンダストリー研究所)
- ブライダル経営者サミット(ウエディングジャーナル)
- 銀座ブライダルアカデミー(ブライダル産業新聞社)
- BIAブライダルコーディネーター養成講座(公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会)
- BIA教職員セミナー(公益社団法人 日本ブライダル文化振興協会)
- KBCセミナー(関西ブライダルビジネス懇話会)

②指導力の修得・向上のための研修等

- 求める人材・育てる人材交流会(京都商工会議所)
- 専門図書館関西セミナー(専門図書館協議会)
- 専門図書館協議会全国研究集会(専門図書館協議会)
- ディベート研修(学内研修)
- 大学・短期大学等就職部担当者セミナー(京都経営者協会)
- 京都商工会議所ビジネスセミナー(京都商工会議所)
- 現代の学生気質と対応方法について(学内研修)
- 授業力向上研修(学内研修)
- チームビルディング研修(学内研修)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、学校関係者として、企業等の役職員および卒業生で組織される学校関係者評価委員会を設置している。この委員会は、本校が経営の現状と課題について適切に把握し、教育活動及びその他学校運営の改善を的確に行おうとしているかについて、客観的に評価することを目的としている。評価結果やいただいた意見に対する改善方法について、今後の教育活動及びその他学校運営に活かしていくとともに、ホームページに掲載し広く社会に公表することでより多くのステークホルダーの理解促進や提携協力につなげ、さらなる学校運営の改善を図っていく。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか</li> <li>・学校における職業教育の特色は何か</li> <li>・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか</li> <li>・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか</li> <li>・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</li> </ul>
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的等に沿った運営方針が策定されているか</li> <li>・運営方針に沿った事業計画が策定されているか</li> <li>・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</li> <li>・人事、給与に関する規程等は整備されているか</li> <li>・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</li> <li>・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか</li> <li>・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか</li> <li>・情報システム化等による業務の効率化が図られているか</li> </ul>

(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</li> <li>・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</li> <li>・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</li> <li>・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。</li> <li>・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか</li> <li>・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか</li> <li>・授業評価の実施・評価体制はあるか</li> <li>・職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか</li> <li>・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</li> <li>・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</li> <li>・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</li> <li>・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか</li> <li>・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか</li> <li>・職員の能力開発のための研修等が行われているか</li> </ul>
(4)学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職率の向上が図られているか</li> <li>・資格取得率の向上が図られているか</li> <li>・退学率の低減が図られているか</li> <li>・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか</li> <li>・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか</li> </ul>
(5)学生支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路・就職に関する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生相談に関する体制は整備されているか</li> <li>・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の健康管理を担う組織体制はあるか</li> <li>・課外活動に対する支援体制は整備されているか</li> <li>・学生の生活環境への支援は行われているか</li> <li>・保護者と適切に連携しているか</li> <li>・卒業生への支援体制はあるか</li> <li>・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか</li> <li>・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</li> </ul>
(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</li> <li>・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</li> <li>・防災に対する体制は整備されているか</li> </ul>
(7)学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生募集活動は、適正に行われているか</li> <li>・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</li> <li>・学納金は妥当なものとなっているか</li> </ul>
(8)財務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</li> <li>・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</li> <li>・財務について会計監査が適正に行われているか</li> <li>・財務情報公開の体制整備はできているか</li> </ul>
(9)法令等の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</li> <li>・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</li> <li>・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか</li> <li>・自己評価結果を公開しているか</li> </ul>
(10)社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</li> <li>・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</li> <li>・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか</li> </ul>
(11)国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか</li> <li>・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか</li> <li>・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか</li> <li>・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか</li> </ul>

※(10)及び(11)については任意記載。



(3) 学校関係者評価結果の活用状況

- 教育理念・目標「学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などを学生・保護者等に周知していくことが、口コミにつながり、入学希望者の増加にもつながるのではないか。⇒就職支援に関する保護者説明会を実施し、保護者に対して、一定の情報を提供した。
- 教職員の資質、能力の向上は必ず学生への貢献につながる⇒全体的な研修の実施と受講に加えて、各種協会や団体、企業が行っている研修やセミナーに積極的に参加した。
- 学生に対する経済的な支援体制を強化すべきである⇒本校独自の奨学金の充実を図ると同時に、行政主体の奨学金の申請や日本学生支援機構の奨学金サポートをきめ細かく対応した。
- ボランティア活動を通しての地域貢献は学外へのアピールのもつなげるため勢力的に取り組むべき⇒学校行事として清掃活動に取り組んだ。また、教職員については、月1回の地域の清掃活動に参加した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
林 恵子	京都ブライトンホテル 総支配人	平成29年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
金杉 有紀	バリューマネジメント株式会社 人材開発部 マネージャー	平成29年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
久本 健司	株式会社JTB西日本 京都支店 営業第三課 課長	平成29年4月1日～平成30年3月31日	企業等委員
柿原 宏幸	キャリアールホテル旅行専門学校 同窓会長	平成29年4月1日～平成30年3月31日	卒業生
水野 裕士	学校法人 大和学園 評議員 京都栄養医療専門学校 副校長	平成29年4月1日～平成30年3月31日	有識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
 (例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

公表方法・・・ホームページ 公表時期・・・平成29年10月頃

<http://www.kyoto-carriere.ac.jp/greeting/evaluation.php>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の業界関係者をはじめ、本校のステークホルダーである保護者、高校の教員卒業生等に対し、透明性を持って説明責任を果たすためにホームページを通じて、教育活動や学校運営に関する情報を積極的に発信する。また、「教育事業そのもので社会に貢献していく」という考えを軸に取り組んできたCSV活動、そして行政・地域・企業との連携によるCSV活動を中心に学園の概要とあわせて「ホスピタリティレポート」としてまとめ、ステークホルダーに配布するとともにホームページに掲載する。さらに冊子に掲載しきれない財務諸表や教職員データ等は「大和学園データ集」として詳細を公表する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	●理念・ビジョン ●アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー ●校長名、所在地、連絡先等 ●学校の沿革
(2) 各学科等の教育	●入学者数、収容定員、在学学生数 ●カリキュラム ●卒業要件 ●取得資格、取得を目指す資格・検定 ●資格取得、検定合格等の実績 ●卒業者数、卒業後の進路(主な就職先)
(3) 教職員	●教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	●キャリア教育の取組状況 ●実習・実技等の取組状況 ●就職支援等の取組状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	●学校行事の取組状況 ●課外活動(サークル活動等)
(6) 学生の生活支援	●学生支援への取組状況
(7) 学生納付金・修学支援	●学費、納入時期等 ●奨学金等
(8) 学校の財務	●資金収支計算書、収支収支計算書
(9) 学校評価	●自己評価 ●学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	●留学生の受入状況 ●留学生募集要項
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

<http://www.kyoto-carriere.ac.jp/>



授業科目等の概要

商業実務専門課程 ブライダル学科 ウエディングプランナーコース 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			就職対策Ⅰ	社会の仕組みや“仕事”について、また、将来目指す業界・職種についての理解を深めます。個人ワークやグループワーク、現場の方の講演等を通じて正しい職業観を持つとともに、業界・職種の現状について正しく理解し、「なりたい気持ち」「なりたい目標」を叶えるための具体的な行動に移しましょう。※夏季インターンシップの事前指導も行います。	1・前	30		○			○		○		○
○			自己分析	自己分析とは「自分を理解すること」です。この授業を通じて、自分にはどのような特性があるのか、それをどのような表現で伝えればよいのか、目指す業界が求める人材や能力は何かなど、様々な方法で見つけます。自己や仕事の認識を深めることは就職活動において自信を持ってアピールすることにつながります。また、授業内で作成した「自分手帳」を活用し、今後の学生生活における目標とそれを実現させるためのプロセスを計画し、具体的な行動計画を見つけてみます。	1・前	30		○			○			○	○
○			今すぐ役立つ文章表現演習	文章を作成するうえで必要かつ基礎的な知識と、読み手を意識して書く姿勢を身につけることを目指します。また、授業内の「読書時間」を通じて日本語文章の基本的なルール構成を学び、実際に書いてみることや、読み手の視点からよりよい文章について考えるワークを行います。文章を分析したり作成したりする演習を通して様々なタイプの文章を自分の力で作成できる能力を養います。	1・前	30		○			○			○	○
○			正しい敬語	なぜ敬語が必要なのか、重要性を理解し、早い段階から社会人として通用する敬語の基本を身につけます。自己紹介やお客様への話し方のロールプレイングを通して、自分の言葉遣いのレベルを認識し、自分のくせ、若者言葉、曖昧な言葉などをチェックします。あらゆる年代、立場の方と、自信をもってコミュニケーションを図ることのできる信頼関係の構築力を養います。また、声の使い方によって、優しさ、親しみやすさ、柔らかさの表現ができることを学び、ブライダル業界で求められる安心感のある対応力を身につけます。	1・前	15		○			○			○	○
○			就職試験筆記対策Ⅰ	企業の採用試験を受ける場合、面接の前に一般常識テストやSPIのテストが課されることが多くなっています。これらの筆記試験に合格しなければ、面接をしてもらうことはできませんので、筆記試験の対策を怠ると、就職活動はいばらの道になってしまいます。この授業では、社会人として最低限身につけておきたい一般常識を中心に学習します。特によく試験に出るジャンル（政治・経済、国際、社会、地理・歴史、文化・スポーツ、国語、英語、理科・数学）において多くの問題を解いて、筆記試験に自信をつけます。	1・後	30		○			○			○	○
○			就職対策Ⅱ	就職活動の流れやポイントを理解し、採用試験突破に必要とされるプレゼンテーション能力（文章表現力・面接表現力）を身に付けていきます。様々な面接官による面接練習によって多くの刺激を得て気づきや発見をし、就職活動を進めていく力・突破していく力を身に付けます。	1・後	30		○			○			○	○
○			京都婚礼文化論	婚礼は人生儀礼の中でも華やかなものとして知られていますが、伝統やしきたりを踏まえた上の儀礼であるとうことも忘れてはならない点です。うわべの華やかさだけではなく、伝統やしきたりに裏打ちされた美しさを知るべく、京都を意識しつつ展開し、学びを深めます。	2・前	30		○			○	○		○	○
○			就職試験筆記対策Ⅱ	採用試験における筆記試験対策は少しずつでも継続して行う必要があります。また、試験を目前に控えた時期に問題を解くことで、試験に対する自信をつけることができます。この授業では、非言語（数学）と言語（国語）に分けて学習を進め、前年に学習した基礎的な内容に加え発展問題による対策も行います。非言語（数学）では、基本的な計算方法を習得し、素早く正解を導き出せる計算力を身につけ、言語（国語）では、問題を解くために必要な語彙力や読解力を高めまます。SPIは、試験範囲が非常に広いため、授業の中でより多くの問題を解いて実力をつけましょう。	2・前	30		○			○			○	○
○			就職試験面接対策	本番の就職試験を想定した実戦力を養い、就職戦線に勝ち残るための就職プレゼンテーション能力の向上を図っていきます。接客業を目指すみなさんにとっては、採用試験における面接の比重が大きく、面接における表現力を高めるトレーニングは欠かせません。この授業では、本番を想定した集団面接・個人面接を実施することにより、面接表現力を高めていくことを中心に、文章表現力についても実戦力を身につけ、総合的に就職プレゼンテーション能力を向上させます。	2・前	30		○			○			○	○
○			ブライダル業ホスピタリティサービス	ホスピタリティとは、自分を知り、他者を知ったうえで、お互いの違いを認識しつつも認め合う心持ちです。価値観や考え方の違いを理解し、寄り添い歩み寄ろうとする気持ちと行動は、ホスピタリティを伝えるサービスの基本です。この授業では、様々なワークや手話、体得や高齢者施設訪問などの実践を通してホスピタリティとは何かを深く考えます。また、相手の要望を引き出し、期待以上のサービスを実践すべく、より細やかなホスピタリティ・サービススキルの向上や、社会に出てからも応用でき、柔軟かつパーソナルに対応できる「人間力」を養います。	2・後	30		○			○	○		○	○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			ブライダル業界研究	ひとくちにブライダル業界といっても、その職種・仕事内容は様々です。ウエディングプランナー、ドレススタイリスト、ブライダルアテンダー、ホテルやゲストハウス・レストランで働く婚礼スタッフと多岐にわたります。本科目では躍進目覚しいウエディングプロデュース会社や、人気ホテル、そして好調に業績を推移させているブライダル関連企業について、業界研究を行い今後の就職活動に役立てることを目的とします。また、ゲストハウスの見学を通して具体的な仕事のイメージをつかみます。	1・前	30		○			○		○			
○			ブライダル総論	結婚は人のライフサイクルにおいて、重大な出来事のひとつに位置づけられています。近年、少子化・非婚化・晩婚化などの伸展により、婚姻数は減少傾向にあるものの、結婚観や価値観の多様化、結婚を取り巻くビジネスは盛んな傾向にあります。将来、ブライダル業界で活躍し、大切なお客様の「ハレ」の日をお預かりするためには、様々な知識や経験が必要とされます。本科目ではビジネスとしてのブライダルの概略を把握し、ブライダル業界で活躍するために必要となる基本知識を理解していきます。	1・前	30		○			○			○		
○			ホテル概論	ホスピタリティ産業において、その中心にあるホテルでは様々なスタッフが働き、日々お客様の満足が得られるよう接客にあたっています。プロのホテルマンとしてお客様にホスピタリティ溢れるサービスを提供するために、ホテルではどんな組織が生まれ、それぞれがどんな役割を担っているかをセクションごとに関わり、業務内容を把握し、最終的にはホテル全体の概要を理解します。ブライダル業界を目指す皆さんが、ホスピタリティの集合体と呼ばれるホテルサービスを学習することによって、将来ブライダル業界で必要とされる社会人基礎力（挨拶、笑顔、身だしなみ、自分で考え自分で動く）を養います。	1・前	30		○			○			○		
○			ホテル業界研究	本科目はホテル業界を目指す皆さんのために、就職対象となる全国各地のホテルを業種別、業態別に分類し、それぞれのホテルの持つ特徴や運営内容などを学び、2年次に訪れる就職活動に役立てる事を目的としています。ホテルを就職対象とする場合、施設の規模だけを見て判断する方が多く見受けられますが、皆さん一人一人が本当にホテルに貢献し、また自分自身も仕事へのやりがいを感じられるかどうかは、表面的な部分だけ見たのでは理解できません。より深くそのホテルを知ることが重要です。	1・前	30		○			○			○		
○			レストランサービス演習	この授業ではホテルサービス実習室において、レストランや宴会等、料飲サービスに必要な知識や技術を身につけます。まずはお客様に対して清潔感ある印象を与える事の出来るよう、身だしなみを整えることから始まり、什器備品の名称や用途を理解し、ホールの準備、テーブルセッティングと進めていきます。実際のお客様の来店を想定した迎賓の仕方、着席の補助からオーダーテイクの方法、料理の提供方法、送賓の仕方など、レストランサービスや宴会サービスに必要な基本動作を繰り返し行い、夏季インターンシップ研修での対応力を身につけます。	1・前	30			○			○				
○			婚礼調理実習	フランス、日本料理の婚礼で使用される基本的な食材の特徴と調理法を学ぶと同時に、調理に必要な衛生観念を習得します。また調理器具の名称や基本的な取扱いを学ぶことにより、社会で臨機応変に幅広く活躍できる知識と技術を身に付けます。調理実習では基本的な料理を習得すると共に、料理の最良の状態を知る事を学びます。またテーブルセッティングを施しての試食を行うことにより、サービスの技術を学習します。調理実習を通してお客様に付加価値のあるプレゼンテーションができる知識を身に付けます。	1・前	30					○	○			○	○
○			HRS特講Ⅰ	本講では、サービス接遇において唯一の国家技能検定試験である、社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会主催の「料飲サービス技能士」3級の合格を目指す対策授業です。単に対策授業としてではなく、お客様と接する接遇話法や立ち居振る舞い、ワインやビバレッジの知識やサービス方法、調理方法や、レストランでの準備、点検、外客をもてなす為の国際儀礼など、将来必ず役立つであろう幅広い知識を学習する講座でもあります。サービス技能検定は問題を暗記しても合格しません。如何に内容を理解し自分のものとなるように学習することが合格への近道となるのです。	1・後	30		○			○				○	
○			カラーコーディネート	色は、私達の生活の様々なところに使われています。衣・食・住のどの分野でも色彩が大きく影響します。ホテルやブライダルにおいても色彩の演出効果は注目をあび、テーブル、衣裳、ブーケ、ライティングなどトータルなカラーコーディネートがもとめられています。感覚的な色の捉え方だけではなく、体系的に色を分類し、色彩に関する基礎や色彩の心理を学びます。また演習をとおして、楽しみながら色彩感覚や感性を磨き、配色調和を習得します。文部科学省後援色彩能力検定3級の内容に即し、検定のための基礎を固めます。パーソナルカラー分析（似合う色）の手法も体験し、布を使って色の効果を習得します。	1・後	30		○			○				○	
○			ブライダルサービス	現在ブライダル業界では、従来の挙式・披露宴に加えて、ロビーやガーデンでの人前式、ゲストハウス、レストラン、国内外リゾートウエディングなど様々なスタイルの挙式及び披露宴が行われています。挙式、披露宴を中心とする婚礼商品に関連して提供される一連のサービスを「ブライダルサービス」と位置づけ、お客様の一生に一度というメモリアル性が強いブライダルの仕事に携わる者としての自覚と責任を持ち、感動や驚きを創出できる豊かな人間性とホスピタリティマインドを兼ね備えた人材となるために、サービス側の視点からブライダルビジネスにおける実務のあり方の基礎を学習します。	1・後	30		○			○			○		
○			ブライダル企業研究	就職活動において企業研究は不可欠です。本科目では、ブライダル企業について研究を行い今後の就職活動に役立てるとともに、実際にゲストハウス見学・ホテルウエディング見学へ行き研究を深めます。また、ブライダル企業の方々を招聘したセミナーにより、企業がどのような人材を求めているか、自分がこれから何をすれば良いかについて理解し、就職活動に活かします。ブライダル企業を知ることにより、就職活動で自ら企業を研究していく力を身につけます。	1・後	30		○			○			○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ブライダルコスチューム	人生の中で最も輝く時間である結婚式。その晴れの日にお召しになる運命の一着のためにコスチュームの個々の要素を理解し、ドレスだけではなく和装、そしてアクセサリ・ウエディングベール・パンプス・ブライダルインナーまでトータルな専門知識を身につけ、ブライダルスタイリストのプロフェッショナルとして、お客様への提案力も身につきます。	1・後	30			○			○			○
○			レストランウエディングサービス演習	前期レストランサービス演習においては、インターンシップ研修に必要な知識と基本技術を学び、反復練習を行い対応力を身につけました。後期本科目では、インターンシップ研修の振り返りを行い、自身に不足していたサービスの知識と技術を補う実習を展開します。また西洋料理や飲料の基礎を学習し、レストランサービスに必要な知識と技術をさらに向上させ、2年次に挑戦する国家資格のレストランサービス技能検定（通称：HRS）へと繋がります。またレストランウエディングにおけるテーブルセッティングや料理提供方法等を、シミュレーションを通して身につけ、2年次のウエディングパーティ演習へと活かします。	1・後	30			○			○			
○			インターンシップI（ホテル基礎実習）	ホテルの各セクションで業務を行うことで、ホテルで働く厳しさや喜びを体験し、前向きで正しい職業観を醸成するとともに、礼儀や言葉遣いなど社会人として基本的な能力の必要性を学ぶ。ホテルでの4週間必修制となり、①ホスピタリティマインドの修得②会社組織の把握③専門知識・技能の修得を目指した研修内容とする。	1・後	160						○			○
○			コスチュームコーディネート	新郎・新婦を最高に輝かせるブライダルスタッフとしての責任と喜びを学びます。お二人のご希望以上のスタイルの実現に向け、また御家族様のお喜びをより深いものにするためにもコーディネート力は勿論のこと、社会人としても信頼されるバランス感覚の優れたブライダルスタッフが必要とされています。コスチュームの基礎知識を踏まえ実践学習を通し、実社会で即戦力となるスキルを学びます。	2・前	30			○			○			○
○			HRS特講Ⅱ	本講では、サービス接遇において唯一の国家技能検定試験である社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会主催の「料飲サービス技能士」3級の合格を目指し学習します。2年次では主に料飲接客サービスを学習します。また、後半では過去10年間の学科試験問題を行います。暗記ではなくより一層の理解をするために取り組み、確実に把握できるように学習を行います。この技能審査試験に合格するという事は、レストランなどで働くための高い知識と接客技能が備わっていると公証するものであり、社会的・経済的地位の向上に資する国家試験といえるでしょう。	2・前	30			○			○			○
○			HRS特講Ⅲ	本講は、サービス接遇において唯一の国家技能検定試験である社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会主催の「レストランサービス技能士」3級の合格を目指し学習します。この特講Ⅲの講座は、単に過去問題の暗記ではなく、学科試験の夏季集中講座としてより一層理解力を高めるために取り組み、確実に内容の把握をするように学習を行います。この技能審査試験に合格するという事は、レストランなどで働くための高い知識と接客技能が備わっていると公証するものであり、社会的・経済的地位の向上に資する国家試験といえるでしょう。	2・前	30			○			○			○
○			色彩検定特講Ⅰ	色彩検定3級合格を目指し、「色の働き」「光と色」「色の表示」「色彩心理」「色彩調和」「ファッション」「インテリア」について学ぶ。	2・前	30			○			○			○
○			色彩検定特講Ⅱ	色彩検定3級合格を目指し、「色の働き」「光と色」「色の表示」「色彩心理」「色彩調和」「ファッション」「インテリア」についての模擬テストを行い実力をつけます。	2・前	15			○			○			○
○			ブライズビューティー	ブライダルスタイリストの仕事は、結婚式の一番の主役『花嫁』をいかに綺麗に見せる事が出来るかが求められます。業界専門性と接客術、コーディネートのセンスを学ぶとともに、「最高に綺麗な自分で臨みたい！」そんな花嫁たちの願いをかなえるために、ブライダルスタイリストが、そのほかのスタイリスト（美容師）との架け橋となるようにします。本科目では、『ヘアメイク、ネイル、エステ』のブライダルビューティをトータルにとらえ、最新事情を知り、より良いアドバイスが出来るようにします。	2・前	30			○			○			○
○			ブライダルマーケティング	現在ブライダル業界は少子高齢化、晩婚化、女性の積極的社会進出等の影響を受け、対象者の結婚観の変化により、新たなブライダルマーケティングの創造と展開が必要とされます。人生の一大イベントであるブライダルにおいて、お客様満足度を追求したプランや商品を企画・提案・販売するマーケティング業務は、多様なスキルと人間的魅力が要求されます。今後さらに様々な変化が予測される中、ブライダル業界に属する各企業がマーケット現状をどのように受け止め、方向付けするかが優劣を決定づける大きなポイントとなります。本科目ではブライダルビジネスにおいて、重要な役割を担うマーケティング活動について体系的に学習します。	2・前	30			○			○			○
○			ウエディングパーティ演習Ⅰ	「人生最大のイベント」と形容されるブライダルは人生の過程において最も華やかで、豪華なイベントのひとつです。本科目では最も華やかであり、「想い」を「形」として表すことのできるウエディングパーティに特化し、現場で即戦力となる中核的専門人材を輩出するため、ウエディングパーティの迎賓から送賓までを再現します。またウエディングパーティ演習Ⅱでは実際の料理を使用し、ウエディングパーティサービスをシミュレーション形式で習得します。学生相互のコミュニケーションについてもウエディングパーティ演習Ⅰと同様、積極的に取り合う意識を持ち、協働することの大切さや重要性を学習します。	2・前	30			○			○			○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			ABC検定特講Ⅰ	婚礼の形態は個性化の時代と言われており婚礼儀式は多様化しています。個性化・多様化するお客様のニーズに対し、幅広い知識をもち、様々な事柄に対処しながらお客様に対して適確なアドバイスができる人材が求められるようになりました。将来ブライダル業界で活躍を目指す人たちが、お客様のニーズに応えるべく実施される検定がアシスタント・ブライダル・コーディネーターになります。本科目では、検定に合格する為のブライダル業界で求められる実務知識の習得を目標とします。	2・後	30		○			○			○		
○			ABC検定特講Ⅱ	婚礼の形態は個性化の時代と言われており婚礼儀式は多様化しています。個性化・多様化するお客様のニーズに対し、幅広い知識をもち、様々な事柄に対処しながらお客様に対して適確なアドバイスができる人材が求められるようになりました。将来ブライダル業界で活躍を目指す人たちが、お客様のニーズに応えるべく実施される検定がアシスタント・ブライダル・コーディネーターになります。本科目では、ABC検定特講Ⅰに続き検定に合格する為のブライダル業界で求められる実務知識の習得を目標とします。	2・後	30		○			○			○		
○			ウエディングパーティ演習Ⅱ	「人生最大のイベント」と形容されるブライダルは人生の過程において最も華やかで、豪華なライフイベントのひとつです。本科目では最も華やかであり、「想い」を「形」として表すことのできるウエディングパーティに特化し、現場で即戦力となる中核的専門人材を輩出するため、ウエディングパーティの迎賓から送賓までを再現します。またウエディングパーティ演習Ⅱでは実際の料理を使用し、ウエディングパーティサービスをシミュレーション形式で習得します。学生相互のコミュニケーションについてもウエディングパーティ演習Ⅰと同様、積極的に取り合う意識を持ち、協働することの大切さや重要性を学習します。	2・後	30			○			○			○	
○			ブライダルセールス	ブライダルセールスはセールス活動の中でも特に高度なコミュニケーションスキルが要求されます。現在ブライダル業界は少子高齢化、晩婚化、女性の積極的進出等の影響を受け、お客様ニーズや価値観が多様化しており、一生に一度というメモリアル性が強いブライダル商品を販売するためには、豊かな人間性とホスピタリティマインドが不可欠です。ブライダルセールスは単に商品を販売するだけでなく、お客様の心の不安を取り除いたり、夢や期待に応えるための的確な提案、助言を行います。結果、ニーズを具体的な形へとコーディネートし、提供することで感動や驚きを創出できるかが問われます。本科目ではブライダルマーケティング業務において、特に重要な役割を担うセールスについて演習形式で学習します。	2・後	30			○			○			○	
○			フラワーアレンジメント	近年ますます多様化するブライダル産業へのニーズ。それゆえ結婚式や披露宴というセレモニーをトータルにプロデュースするブライダルコーディネーターには、高度な専門知識と優れたセンスが求められています。ブライダルの演出に欠かせないフラワーアレンジメントの最先端の知識とテクニックを学び、シーンに合わせた花のセレクトや、個性の表現方法を身につけ現場レベルでの知識を養います。	2・後	30			○			○			○	○
○			ブライダルプロジェクト	カップルの結婚式に対するニーズが多様化していく昨今、オリジナルウエディングは現在のブライダル業界には欠かせない存在です。本科目ではブライダル企業様から現場における課題をいただき、解決策を各クラスで研究を行い、最終回にはブライダル企業の方々をお招きし、卒業研究発表会をゲストハウスにて実施します。2年間学んだ総まとめとして自分たちの全ての知識を結集し、「ブライダル業界活性化プロジェクト」に取り組みます。	2・後	86			○			○	○	○		○
○			サービスマナー演習Ⅰ	キャリアール・クール・スタンダードを基本とし、社会人としての基礎的なマナーを身につけます。同時にブライダル業界に求められるホスピタリティマインドやコミュニケーションスキルを高めつための知識や技術を学びます。また、知識の習得だけでなく、なぜそれが必要か、サービスマナーの意義を理解しながら、「知る」「行動する」「習慣になる」の流れを作り、現場で活かせる力を養います。	1・前	30			○			○			○	○
○			ディベート・ディスカッション対策Ⅰ	初対面でも自らコミュニケーションを図る積極性を養います。自ら話しかけ、興味を持って「相手を知る」ことや、「自分の考えを伝える」演習を重ね、対話力を養います。さらに、演習を通じてチームワークの大切さや自ら考え動く主体性を養います。ボイスゲームやコミュニケーショントレーニングを実施することで緊張感を和らげ、人前で発言をすることが楽しくなる実践力の向上を目指します。	1・前	15			○			○			○	○
○			パーソナルグレイス	ホスピタリティビジネスにおいて最も大切な「ホスピタリティマインド」は、形として表現されてはじめて相手に伝わります。21世紀は個性の時代です。一人一人の持てる秘めた魅力を引き出し、それを表現できるよう様々な角度から指導いたします。また全ての動作の基本である正しい姿勢を反復することで身体の歪みを矯正し、健康的で美しい動作を身につけると同時に、「グレイス」の持つ本来の意味「優雅さ・気品」と「自分らしさ」を兼ね備え内面と外面とのバランスの取れた豊かな「Ladies & Gentlemen（紳士淑女）」を目指します。	1・前	30			○			○			○	○
○			ブライダル業のためのICT基礎	「ICT」とはInformation & Communication Technology（情報通信技術）のこと、この科目ではブライダル業界で求められる情報活用能力を身につけます。まずは情報ライブラリー（図書館）で図書や雑誌、新聞記事などの活用方法を学びます。また、個人情報や著作権などの知的財産についての知識を習得します。そしてパソコンを使って、インターネットの活用方法やセキュリティ、情報モラルとともに、Word2013を用いた文書作成やExcel2013での表操作を、「プレゼンテーション演習」「ブライダルプレゼンテーション」での資料作成につなげていきます。	1・前	30			○			○			○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			サービスマナー演習Ⅱ	社会に出て、サービス業に就く人材には、基本のマナーはもちろんのこと、様々な場面に必要な対応力が求められます。この授業では、「真のサービスとは何か」を追求し、プラスαの接客スキルを身につけます。さらに、より良い対人関係を築くコミュニケーション力、チームワーク力、自ら考え行動する主体性、課題に対する問題発見、情報整理力などの「社会人基礎力」の向上を目指します。リーディングタイムも実施します。	1・後	30			○		○			○	○	
○			ディベート・ディスカッション対策Ⅱ	前期授業で培ったコミュニケーションの必要性を踏まえ、人前で自信を持って自分の意見を伝えるプレゼンテーション能力を養います。伝え方のノウハウを踏まえたうえで「知る」「考える」「行動する」力を身に付け、旅行・ホテル・ブライダル業界で基本となる「対話力」「傾聴力」を養います。また、どのような状況にも対応できる柔軟性を養い、緊張感の中でも自分の考えに自信を持って伝える表現力を身に付けます。	1・後	30			○		○			○	○	
○			ブライダル業のためのICT応用	ブライダル業で求められるICT活用能力をさらに身につけるために、この授業では文書作成、表計算の実習を行います。まず「Word2013」を用い視覚に訴えかけるグラフィカルな文書の作成や、より高度なビジネス文書の作成をします。次に「Excel2013」を使いブライダル業界で必要とされるビジネス文書の作成やデータベースを含むビジネスフォームを作成します。また、Webサイトやモバイルの情報をアプリケーションで活用する方法も紹介していきます。	1・後	30			○		○			○		
○			プレゼンテーション演習	ブライダル業界でも、表現・企画・発表能力は重要視されます。本講座では、スピーチやプレゼンテーションソフト「PowerPoint2013」での発表を行い、「人前に立って話すことに慣れる」ことから「より良い企画や表現を行う」ことを目標とします。また、3分間スピーチで話す訓練を繰り返し、デジタルプレゼンテーションの技術も身につけます。なお、ブライダルプロジェクト（卒業研究発表会）に向けてグループに分かれ業界活性化プランを企画しクラス内で発表を行います。クラスの上位のグループが2年生前期終了時の「プレゼンテーション大会」に出場し、ブライダルプロジェクトにおける研究発表へとつなげていきます。	2・前	58			○		○			○		
○			接客英会話Ⅰ	ホテル・旅行・ブライダルといった接客の場で、ますます必要になってきている英語でのコミュニケーション。毎回の授業では、海外からのお客様を迎える様々な場面を中心に、接客する側と接客される側の両方の会話を学びます。また、ロールプレイを通して実際の場面を想定しながら繰り返し発話練習を行い、接客英会話を身につけていきます。外国人講師の生きた英語に触れながら異文化理解を深め、楽しく英語でのコミュニケーションをとれるようになります。	1・前	30			○		○				○	○
○			接客英会話Ⅱ	「接客英会話Ⅱ」では、「接客英会話Ⅰ」に引続き、様々な場面をテーマに英会話を学びます。より幅広い文法ポイントや表現を身に着けることにより、幅広い会話に対応できるように致します。外国人講師が「接客英会話Ⅰ」、「接客英会話Ⅱ」を通して、自信を持って積極的に英語でのコミュニケーションがとれるように、楽しく、丁寧に指導していきます。	1・後	30			○		○				○	○
	○		セレモニープロデュース	ブライダル業界の変遷や動向を理解し、現状のウエディングを把握します。この科目では儀式的慣習をふまえた上でのコミュニケーション力、プロデュース力を養います。	1・後	30			○		○				○	
	○		リゾートウエディング	ウエディングの魅力や特徴に触れることでリゾートウエディングにおける幅広い知識を得るとともに、プラン作成を通して、プランナーに必要とされる企画力・提案力、お客様が求めるニーズへの対応力など、より実践的な創造力を身につけます。また、現役プランナーなどから実際のエピソードやハウジングを聞かなかで、サービス業の根底となるマナーやホスピタリティの大切さを学び、ウエディング業でのやりがいを見つけていきます。	1・後	30			○		○				○	○
	○		空間コーディネート	近年ますます多様化するブライダル産業へのニーズ。それゆえ結婚式や披露宴というセレモニーをトータルにプロデュースするブライダルコーディネーターには、高度な専門知識と優れたセンスが求められています。ブライダルの演出に欠かせないフラワーアレンジメントの最先端の知識とテクニックを学び、一に合わせた花のセレクトや、個性の表現方法を身につけ現場レベルでの知識を養います。	2・前	15			○		○				○	○
	○		和装着付・作法演習	日本人の美意識を育んできた着物文化、民族衣装である着物を通じて和の文化を体感します。着物姿は着こなしと身のこなしによって美しさが表現され、何気ない立ち居振舞から人柄や女らしさを感じられるものです。ファッションの世界でT・P・Oといえ、時間、場所、行事を意味します。装いを決定する大切な要素です。和装は行事によって装いの格が変わり昼、夜に関係なく、結婚式、披露宴という行事のために着物の格を選びます。着物の着付け、和の立ち居振舞を知ることにより、特別な日の花嫁、親族の装いの手助け、アドバイスができるようになります。	2・前	30			○		○				○	○
	○		ブライダルMC演習	ブライダルMCに必要な知識と技術を身につけます。挙式、披露宴の内容と進行をMCの立場から捉え、全体の流れを把握します。実習を行うなかでブライダルMCの役割を理解し人前での話し方が身につきます。話すということの心（伝えたいという熱意）、技（伝えるための技術）、体（伝えることができる基礎力）に対応するスキルを体得出来ます。	2・前	30			○		○				○	



分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任			
	○		ウエディングプランナー演習Ⅰ	結婚式とは人生で最も幸福で、最も華やかなイベントです。生活様式の多様化や価値観の変化、様々な情報メディアの影響により、パターンにとられないオリジナルウエディングが主流となっています。結婚式のスタイルは今後、ますます多様化していく中で、オリジナルウエディングを望むお客様に対し、個性的で感動的なステージをいかに演出していくはウエディングプランナーの腕の見せどころです。本科目では結婚式の当日までのウエディングプランナーの仕事内容を理解し、結婚式をプロデュースする上で必要不可欠であるウエディング商品の知識・打合せ業務の内容を学びます。	2・前	30			○		○						
		○	インターンシップⅡ（ホテル・ブライダル応用実習）	ホテルやゲストハウスなど婚礼部門にて、各業務を行うことで、ブライダル業界で働く厳しさや喜びを体験し、前向きで正しい職業観を醸成するとともに、礼儀や言葉遣いなど社会人として基本的な能力の必要性を学ぶ。4週間希望制となり、①バンケット業務②アテンド業務③プランナ業務④スタイリスト業務⑤フラワー業務等を経験し専門知識・技能の修得を目指した研修内容とする。	2・前	160				○		○				○	
	○		婚礼料理研究	婚礼料理とは、結婚披露宴で供される料理です。フランス料理やイタリア料理の洋食コース、日本料理の会席コース、中国料理やbuffet料理など多彩なジャンルがあり、いずれも慶事にふさわしい食材を使って、一般的なコース料理より豪華な献立で構成されています。披露宴の費用の多くを占めるアイテムでもあり、招待客へのおもてなしの核として婚礼料理は特に重要視されます。本科目では将来、ウエディングプランナーとして活躍するために婚礼料理の素材の基本知識、基本的な調理法、婚礼料理の価格帯について学び、婚礼料理を販売する知識を身につけます。	2・後	30			○			○					○
	○		ウエディングプランナー演習Ⅱ	ウエディングプランナーとは、生涯一度のハレの場である「結婚式」をお預かりし、結婚式の全てをプロデュースする仕事です。また1組のカップルが挙式・披露宴の当日を迎えるまでのアドバイザー的な役割であり、お客様と深くかかわり合います。昨今、お客様のニーズが多様化する中、ウエディングプランナーに求められるスキルは高まる一方です。本科目では、前期に受講した「ウエディングプランナー演習Ⅰ」を基本に、お客様が結婚式の当日をお迎えになれるまでの仕事内容を理解し、将来ウエディングプランナーとして活躍できる接客スキルを演習形式に学習します。	2・後	30				○			○				
	○		カリグラフィー	欧米の歴史と文化に育まれたカリグラフィーは、『西洋の書道』とも言われるアルファベットを美しく書く特殊な技術です。様々な書体の中から、読みやすく、かつ表現豊かなイタリック体を学びます。基礎的な技術を習得した上で仕上げの課題作品としてウエディングボードなどを制作します。手書きで書かれたアルファベット文字の美しさを認識し、フォーマルな場所での教養のひとつとして、身につけていただきたいと考えています。	2・後	30				○							○
	○		婚礼作法演習	プランナーは、迅速な対応と的確な判断が求められます。その礎となるしきたりや婚礼文化の歴史的背景を学びます。応用として状況に応じた的確に判断できるように、具体的なシチュエーションを想定し、プランナーに必要な不可欠なコミュニケーション力や総合力を身につけます。	2・後	30				○							○
合計						58科目					1864単位時間					(単位)	

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：2年以上在学し、所定の課程を修め単位を修得及び本校が定める資格・検定ポイントを取得した者 履修方法：各科目ごとの試験の合格をもって履修したものとす。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。